



トレース コマンド

- トレースについて (3 ページ)
- set platform software trace (5 ページ)
- show platform software trace level (9 ページ)
- request platform software trace archive (13 ページ)
- show platform software btrace-manager (14 ページ)
- set logging (15 ページ)
- set logging marker (17 ページ)
- show logging (18 ページ)
- show logging process (23 ページ)
- show logging process-helper (27 ページ)
- show logging profile (29 ページ)
- show logging profile wireless (32 ページ)
- **show logging profile wireless end** (35 ページ)
- show logging profile wireless filter (36 ページ)
- show logging profile wireless fru (38 ページ)
- show logging profile wireless internal (40 ページ)
- show logging profile wireless level (43 ページ)
- show logging profile wireless module (46 ページ)
- show logging profile wireless reverse (48 ページ)
- show logging profile wireless start (51 ページ)
- show logging profile wireless switch (54 ページ)
- show logging profile wireless to-file (56 ページ)
- show logging profile sdwan (57 ページ)
- show logging profile sdwan internal (60 ページ)
- show log file (63 ページ)
- monitor logging (64 ページ)
- monitor logging filter (66 ページ)
- monitor logging level (67 ページ)
- monitor logging metadata (68 ページ)

- [monitor logging process-helper](#) (69 ページ)
- [monitor logging](#) (70 ページ)

トレースについて

トレース管理に関する情報

トレース機能により内部イベントが記録されます。トレースファイルは自動的に作成され、特定のプラットフォームの永続ストレージデバイスに保存されます。

トレースファイルの内容は、デバイスに問題がある場合のトラブルシューティングに役立ちます。トレースファイルの出力は、問題の特定と解決に使用できる情報を提供し、システムのアクションと操作の詳細なビューを取得するのに役立ちます。

特定のプロセスに関する最新のトレース情報を表示するには、**show logging [process | Profile | process-helper]** コマンドを使用します。**process** にはプロセスの名前を使用し、**Profile** には事前定義されたプロセス名のセットをリストし、**profile-helper** には使用可能な名前を示します。

トレースメッセージ出力の詳細レベルを変更する場合は、**set platform software trace level** コマンドを使用してプロセスのトレースレベルを調整できます。**all** キーワードを選択して、リストされているすべてのプロセスのトレースレベルを調整することも、特定のプロセスを選択することもできます。特定のプロセスを選択すると、特定のモジュールのトレースレベルを調整するオプションもあります。または、**all-modules** キーワードを使用してすべてのプロセスのモジュールを調整できます。

トレースレベル

トレースレベルは、出力されるトレースのタイプを決定します。各トレースメッセージには、トレースレベルが割り当てられます。プロセスまたはそのモジュールのトレースレベルがトレースメッセージと同じかそれ以上のレベルに設定されている場合は、トレースメッセージが表示され、それ以外の場合はスキップされます。たとえば、デフォルトのトレースレベルは **Notice** レベルであるため、**Notice** レベルおよび **notice** レベル未満のすべてのトレースが含まれ、**Notice** レベルより上のトレースは除外されます。

次の表に、使用可能なすべてのトレースレベルを示し、各トレースレベルで表示されるメッセージについて説明します。テーブルのトレースレベルは、低いものから高いものへの順序でリストされます。デフォルトのトレースレベルは **Notice** です。

表 1: トレースレベルとその内容

トレースレベル	説明
重大 (Fatal)	プロセスが中止されることを示すメッセージ。
Emergency	システムが使用不能になる問題のメッセージです。
[Alert]	ただちにアクションを実行する必要があることを示すメッセージ。

トレースレベル	説明
重大	このメッセージは、重要な機能の喪失を引き起こす重大なイベントに関するものです。
Error	システムエラーについてのメッセージです。
Warning	システム警告についてのメッセージです。
Notice	このメッセージは重大なイベントに関するものです。
Informational	単に情報を提供するだけのメッセージです。
Debug	デバッグレベルの出力を提供するメッセージです。
Verbose	生成可能なすべてのトレースメッセージが送信されます。
Noise	モジュールについての生成可能なすべてのトレースメッセージが記録されます。 ノイズレベルは常に最上位のトレースレベルに相当します。今後、トレース機能の拡張が行われ、さらに低いトレースレベルが導入された場合でも、ノイズレベルはこの新しい拡張機能のレベルと同じレベルに相当します。

set platform software trace

プロセス内の特定のモジュールのトレースレベルを設定するには、特権 EXEC モードまたはユーザ EXEC モードで **set platform software trace** コマンドを使用します。

set platform software trace *process slot module trace-level*

構文の説明

process

トレース レベルが設定されているプロセス。次のオプションがあります。

- **chassis-manager** : Chassis Manager プロセス。
 - **cli-agent** : CLI Agent プロセス。
 - **dbm** : Database Manager プロセス。
 - **emd** : Environmental Monitoring プロセス。
 - **fed** : Forwarding Engine Driver プロセス。
 - **forwarding-manager** : Forwarding Manager プロセス。
 - **host-manager** : Host Manager プロセス。
 - **iomd** : Input/Output Module daemon (IOMd) プロセス。
 - **ios** : IOS プロセス。
 - **license-manager** : License Manager プロセス。
 - **logger** : Logging Manager プロセス。
 - **platform-mgr** : Platform Manager プロセス。
 - **pluggable-services** : Pluggable Services プロセス。
 - **replication-mgr** : Replication Manager プロセス。
 - **shell-manager** : Shell Manager プロセス。
 - **smd** : Session Manager プロセス。
 - **table-manager** : Table Manager サーバ。
 - **wireless** : ワイヤレス コントローラ モジュール プロセス。
 - **wireshark** : Embedded Packet Capture (EPC) Wireshark プロセス。
-

<i>slot</i>	<p>トレース レベルが設定されているプロセスを実行中のハードウェア スロット。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• number : トレース レベルが設定されているハードウェア モジュールの SIP スロットの数。たとえば、スイッチの SIP スロット 2 の SIP を指定する場合は、「2」と入力します。• SIP-slot/SPA-bay : SIP スイッチ スロットの数とその SIP の共有ポート アダプタ (SPA) ベイの数。たとえば、スイッチ スロット 3 の SIP のベイ 2 の SPA を指定する場合は、「3/2」と入力します。• F0 : スロット 0 の Embedded-Service-Processor。• FP active : アクティブな Embedded-Service-Processor。• R0 : スロット 0 のルート プロセッサ。• RP active : アクティブなルート プロセッサ。• switch <number> : 指定された番号を持つスイッチ。• switch active : アクティブなスイッチ。• switch standby : スタンバイスイッチ。
<i>module</i>	<p>トレース レベルが設定されているプロセス内のモジュール。</p>

trace-level

トレース レベルです。次のオプションがあります。

- **debug** : デバッグレベルのトレーシング。デバッグレベルのトレースメッセージは、モジュールに関する大量の詳細を提供する緊急でないメッセージです。
- **emergency** : 緊急事態レベルのトレーシング。緊急レベルのトレースメッセージは、システムが使用不能であることを示すメッセージです。
- **error** : エラーレベルのトレーシング。エラーレベルのトレースメッセージは、システムエラーを示すメッセージです。
- **info** : 情報レベルのトレーシング。情報レベルのトレースメッセージは、システムに関する情報を提供する緊急でないメッセージです。
- **noise** : ノイズレベルのトレーシング。ノイズレベルは、常に可能なトレースレベルの中の最高レベルに相当し、考えられるすべてのトレースメッセージを生成します。

ノイズレベルは、モジュールに関して可能な最高レベルのトレースメッセージに相当します。これは、このコマンドの将来の拡張で、ユーザが寄り高いトレースレベルを設定できるオプションが追加された場合にも、当てはまります。
- **notice** : 重大な問題に関するメッセージです。ただし、スイッチは通常どおり動作しています。
- **verbose** : 詳細レベルのトレーシング。トレースレベルが **verbose** に設定されている場合は、考えられるすべてのトレースメッセージが送信されます。
- **warning** : 警告メッセージ。

コマンド デフォルト

すべてのモジュールのデフォルトのトレースレベルは **notice** です。

コマンド モード

ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン *module* オプションは、プロセスおよび *hardware-module* によって異なります。このコマンドを入力する際に、各キーワードシーケンスで使用可能な *module* オプションを確認するには、? オプションを使用します。

トレース ファイルは、**harddisk:** ファイル システムのトレースログ ディレクトリに保存されます。これらのファイルは、スイッチの動作に影響を与えずに削除できます。

トレース ファイル出力は、デバッグに使用されます。トレース レベルは、モジュールに関するどのぐらいの量の情報をトレース ファイルに保存するかを決定する設定です。

例

次に、dbm プロセスのすべてのモジュールのトレース レベルを設定する例を示します。

```
デバイス# set platform software trace dbm R0 all-modules debug
```


show platform software trace level

特定のプロセスですべてのモジュールのトレース レベルを表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザ EXEC モードで **show platform software trace level** コマンドを使用します。

show platform software trace level *process slot*

構文の説明

process

トレースレベルが設定されているプロセス。次のオプションがあります。

- **chassis-manager** : Chassis Manager プロセス。
- **cli-agent** : CLI Agent プロセス。
- **cmm** : CMM プロセス。
- **dbm** : Database Manager プロセス。
- **emd** : Environmental Monitoring プロセス。
- **fed** : Forwarding Engine Driver プロセス。
- **forwarding-manager** : Forwarding Manager プロセス。
- **geo** : Geo Manager プロセス。
- **host-manager** : Host Manager プロセス。
- **interface-manager** : Interface Manager プロセス。
- **iomd** : Input/Output Module daemon (IOMd) プロセス。
- **ios** : IOS プロセス。
- **license-manager** : License Manager プロセス。
- **logger** : Logging Manager プロセス。
- **platform-mgr** : Platform Manager プロセス。
- **pluggable-services** : Pluggable Services プロセス。
- **replication-mgr** : Replication Manager プロセス。
- **shell-manager** : Shell Manager プロセス。
- **sif** : Stack Interface (SIF) Manager プロセス。
- **smd** : Session Manager プロセス。
- **stack-mgr** : Stack Manager プロセス。
- **table-manager** : Table Manager サーバ。
- **thread-test** : Multithread Manager プロセス。
- **virt-manager** : Virtualization Manager プロセス。
- **wireless** : ワイヤレス コントローラ モジュール プロセス。

<i>slot</i>	<p>トレースレベルが設定されているプロセスを実行中のハードウェアスロット。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • number : トレースレベルが設定されているハードウェアモジュールの SIP スロットの数。たとえば、スイッチの SIP スロット 2 の SIP を指定する場合は、「2」と入力します。 • SIP-slot/SPA-bay : SIP スイッチスロットの数とその SIP の共有ポートアダプタ (SPA) ベイの数。たとえば、スイッチスロット 3 の SIP のベイ 2 の SPA を指定する場合は、「3/2」と入力します。 • F0 : スロット 0 の Embedded Service Processor。 • F1 : スロット 1 の Embedded Service Processor。 • FP active : アクティブな Embedded Service Processor。 • R0 : スロット 0 のルートプロセッサ。 • RP active : アクティブなルートプロセッサ。 • switch <number> : 指定された番号を持つスイッチ。 • switch active : アクティブなスイッチ。 • switch standby : スタンバイスイッチ。 <ul style="list-style-type: none"> • number : トレースレベルが設定されているハードウェアモジュールの SIP スロットの数。たとえば、スイッチの SIP スロット 2 の SIP を指定する場合は、「2」と入力します。 • SIP-slot/SPA-bay : SIP スイッチスロットの数とその SIP の共有ポートアダプタ (SPA) ベイの数。たとえば、スイッチスロット 3 の SIP のベイ 2 の SPA を指定する場合は、「3/2」と入力します。 • F0 : スロット 0 の Embedded Service Processor。 • FP active : アクティブな Embedded Service Processor。 • R0 : スロット 0 のルートプロセッサ。 • RP active : アクティブなルートプロセッサ。
-------------	---

コマンドモード	ユーザ EXEC (>)
	特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	このコマンドが導入されました。

例

次に、トレース レベルを表示する例を示します。

```
デバイス# show platform software trace level dbm switch active R0
Module Name                               Trace Level
-----
binos                                      Notice
binos/brand                               Notice
bipc                                       Notice
btrace                                    Notice
bump_ptr_alloc                             Notice
cdllib                                    Notice
chasfs                                    Notice
dbal                                       Informational
dbm                                        Debug
evlib                                     Notice
evutil                                    Notice
file_alloc                                Notice
green-be                                  Notice
ios-avl                                   Notice
klib                                       Debug
services                                  Notice
sw_wdog                                   Notice
syshw                                     Notice
tdl_cdlcore_message                       Notice
tdl_dbal_root_message                     Notice
tdl_dbal_root_type                         Notice
```

request platform software trace archive

スイッチでの最後のリロード以降にシステム上で実行されているすべてのプロセスに関連するすべてのトレースログをアーカイブし、これを指定された場所に保存するには、特権 EXEC モードまたはユーザ EXEC モードで **request platform software trace archive** コマンドを使用します。

request platform software trace archive [*last number-of-days* [*days* [*target location*]] | **target location**]

構文の説明	last <i>noofdays</i>	トレース ファイルをアーカイブする必要がある日数を指定します。
	target <i>location</i>	アーカイブ ファイルの場所と名前を指定します。

コマンドモード	ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)
---------	-----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このアーカイブ ファイルは、`tftp` コマンドまたは `scp` コマンドを使用してシステムからコピーできます。

例 次に、過去 5 日以降にスイッチで実行されているプロセスのすべてのトレースログをアーカイブする例を示します。

```
デバイス# request platform software trace archive last 5 days target flash:test_archive
```

show platform software btrace-manager

特定のモジュールの最新の UTF/UTM 情報を表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **show platform software btrace-manager** コマンドを使用します。

show platform software trace filter-binary filter [**status** *UTF* *UTM*]

構文の説明	filter	UTF バイナリストリームフィルタを表示します。
	status	バイナリ トレース マネージャ フィルタのステータスを表示します。
	UTF	UTF ユニファイド トレース ファイルを表示します。
	UTM	UTM トレース エンコーダを表示します。
コマンドモード	ユーザ EXEC (>)	
	特権 EXEC (#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	このコマンドが導入されました。

例

```
Device# show platform software btrace-manager R0 utf
Estimated disk usage for UTF storage (mbytes):.....61
Disk UTF quota set from: default
Stored preserved UTF time window (current boot):
 [2023/03/17 08:40:00.419987197] - [2023/03/17 20:16:59.895805251]
Stored non-preserved UTF time window (current boot): none
Disk usage for UTF storage (mbytes):.....23
Maximum number of files to retain:.....27
Number of retained UTF files:.....18
Maximum inflated UTF file size (mbytes):.....20
Maximum number of files to preserve:.....2
Number of preserved UTF files:.....2
Stale messages from stream:.....0
Compressed file write failures (disk full):.....0
```

```
Device# show platform software btrace-manager R0 UTM brief
Current Time ..... Fri Mar 17 20:55:25 2023
Unified Consolidated Mode ..... FALSE
Process [Main-ID / Demux-ID / FRU ] ... [6382 / 17304 / RP-FRU]
Number of Processes ..... 79
Number of Active trace files ..... 61
Message Rate/Sec [Current/Average/Peak]. 20 / 11 / 10356
Total Messages ..... 311406
```

set logging

ロギング操作のタイムゾーンを表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **set logging** コマンドを使用します。

set logging { **backtrace** *process* | **marker** *string* | **ra** { **collect** } | **timezone** { **UTC** | **local** } | **tracelog-number** *process* | **tracelog-files-to-preserve** *number* | **tracelog-storage-quota** *size* }

構文の説明		
<i>backtrace</i>		特定のプロセスのバックトレースの詳細を表示します。
<i>marker</i>		指定されたマーカーに対応するログを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • start last marker : マーカーリスト内の最新の一致マーカー。 • end marker : 開始マーカーの後の最初の一致マーカー。
タイムゾーン		トレースログに表示されるタイムゾーンを設定します。 set logging コマンドを使用して設定したタイムゾーンは、 show logging および monitor logging コマンドのトレースログに表示されます。デバイスにタイムゾーンが設定されていない場合、トレースログは協定世界時 (UTC) で表示されます。
ra		RA 属性を設定します。
<i>tracelog-number</i>		特定のプロセスのトレースログ番号を設定します。
<i>tracelog-files-to-preserve</i>		ローテーションから保持するファイルの量を設定します。
<i>tracelog-storage-quota</i>		保持するトレースログファイルを設定します。

コマンドモード	
	ユーザ EXEC (>)
	特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン タイムゾーンがすでに設定されており、トレースログを UTC で表示する必要があるシナリオでは、**set logging timezone UTC** コマンドを使用すると、トレースログが UTC で表示されます。

このコマンドを使用して設定できるのは、トレースログのタイムスタンプの表示方法だけであることに注意してください。トレースファイル内のタイムスタンプは変更されません。

次に、タイムゾーンが **UTC** に設定されている場合のトレースログの例を示します。

```
device_2_9222#show clock *06:14:29.031 IST Fri Oct 4 2019

device_2_9222#show logging process ios
Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 5 minutes, 13 seconds
executing cmd on chassis 1 ...
Collecting files on current[1] chassis.
# of files collected = 15
2019/10/04 06:12:38.051848 {IOSRP_R0-0}{1}: [iosrp] [6107]: (info): *Oct 4 00:42:37.992:
  %VUDI-6-EVENT:
[serial number: 9SQTGKYU119], [vUDI: ], vUDI is successfully retrieved from license file

device_2_9222#set logging timezone UTC

device_2_9222#show logging process ios
Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 5 minutes, 40 seconds
executing cmd on chassis 1 ...
Collecting files on current[1] chassis.
# of files collected = 15
2019/10/04 00:42:38.051848 {IOSRP_R0-0}{1}: [iosrp] [6107]: (info): *Oct 4 00:42:37.992:
  %VUDI-6-EVENT:
[serial number: 9SQTGKYU119], [vUDI: ], vUDI is successfully retrieved from license file
```

次に、タイムゾーンが **local** に設定されている場合のトレースログの例を示します。

```
device_2_9222#set logging timezone local

device_2_9222#show logging process ios
Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 7 minutes, 32 seconds
executing cmd on chassis 1 ...
Collecting files on current[1] chassis.
# of files collected = 12
2019/10/04 06:12:38.051848 {IOSRP_R0-0}{1}: [iosrp] [6107]: (info): *Oct 4 00:42:37.992:
  %VUDI-6-EVENT: [serial number: 9SQTGKYU119], [vUDI: ], vUDI is successfully retrieved
from license file
```


set logging marker

すべてのプロセスにマーカートレースを追加するには、**set logging marker** コマンドを使用します。**set logging marker** を使用して設定されたマーカをタイムスタンプとともに表示するには、**show logging markers** コマンドを使用します。

set logging marker *marker-name*

構文の説明	<i>marker-name</i>	プロセスのトレースログにマーカートレースを設定します。入力したマーカ文字列では、大文字と小文字が区別されません。
コマンドモード	ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

次の例では、ロギングマーカを設定する方法を示します。

```
Device# set logging marker global_100
```

```
Device# show logging markers
```

```
Timestamp UTC          Marker
-----
2023/03/13 10:31:34.667836    global_100
```

show logging

システムロギング (syslog) の状態および標準のシステムロギングバッファの内容を表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **show logging** コマンドを使用します。

show logging

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show logging** コマンドの出力例を示します。

```
device# show logging
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 2 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)
No Active Message Discriminator.

No Inactive Message Discriminator.

  Console logging: level debugging, 67 messages logged, xml disabled,
                    filtering disabled
  Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
                    filtering disabled
  Buffer logging:   level debugging, 160 messages logged, xml disabled,
                    filtering disabled
  Exception Logging: size (4096 bytes)
  Count and timestamp logging messages: disabled
  File logging: disabled
  Persistent logging: disabled

No active filter modules.

  Trap logging: level informational, 157 message lines logged
    Logging Source-Interface:      VRF Name:
  TLS Profiles:

Log Buffer (102400 bytes):

*Mar  9 11:32:47.051: %SMART_LIC-6-AGENT_ENABLED: Smart Agent for Licensing is enabled
*Mar  9 11:32:50.053: pagp init: platform supports EC/LACP xFSURA Tracing tool registry
return: 0
*Mar  9 11:32:50.103: LACP-GR: infra cb, GR_NONE

*Mar  9 11:32:50.104: BFD: brace register success
*Mar  9 11:32:52.617: %CRYPTO-4-AUDITWARN: Encryption audit check could not be performed
*Mar  9 11:32:52.617: %CRYPTO_ENGINE-4-CSDL_COMPLIANCE_DISABLED: Cisco PSB security
compliance has been disabled
*Mar  9 11:32:52.630: %SPANTREE-5-EXTENDED_SYSID: Extended SysId enabled for type vlan
```

```
*Mar 9 11:32:52.964: %LINK-3-UPDOWN: Interface Lsmpi18/3, changed state to up
*Mar 9 11:32:52.976: %LINK-3-UPDOWN: Interface EOBC18/1, changed state to up
*Mar 9 11:32:52.976: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface LI-Null0, changed
state to up
*Mar 9 11:32:52.977: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/0, changed state to
down
*Mar 9 11:32:52.977: %LINK-3-UPDOWN: Interface LIIN18/2, changed state to up
*Mar 9 11:32:52.977: %LINK-5-CHANGED: Interface Bluetooth0/4, changed state to
administratively down
*Mar 9 11:32:53.072: %PNP-6-PNP_DISCOVERY_STARTED: PnP Discovery started
*Mar 9 11:32:53.075: %HMANRP-6-HMAN_IOS_CHANNEL_INFO: HMAN-IOS channel event for switch
1: EMP_RELAY: Channel UP!
<output truncated>
```

次に、スイッチングデバイスに対する show logging コマンドの出力例を示します。

```
device# show logging
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 2 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)

No Active Message Discriminator.

No Inactive Message Discriminator.

Console logging: level debugging, 97 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Buffer logging: level debugging, 190 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Exception Logging: size (4096 bytes)
Count and timestamp logging messages: disabled
File logging: disabled
Persistent logging: disabled

No active filter modules.

Trap logging: level informational, 187 message lines logged
Logging Source-Interface: VRF Name:
TLS Profiles:

Log Buffer (102400 bytes):

*Mar 9 11:32:47.051: %SMART_LIC-6-AGENT_ENABLED: Smart Agent for Licensing is enabled
*Mar 9 11:32:50.053: pagp init: platform supports EC/LACP xFSURA Tracing tool registry
return: 0
*Mar 9 11:32:50.103: LACP-GR: infra cb, GR_NONE

*Mar 9 11:32:50.104: BFD: brace register success
*Mar 9 11:32:52.617: %CRYPTO-4-AUDITWARN: Encryption audit check could not be performed
*Mar 9 11:32:52.617: %CRYPTO_ENGINE-4-CSDL_COMPLIANCE_DISABLED: Cisco PSB security
compliance has been disabled
*Mar 9 11:32:52.630: %SPANTREE-5-EXTENDED_SYSID: Extended SysId enabled for type vlan
*Mar 9 11:32:52.964: %LINK-3-UPDOWN: Interface Lsmpi18/3, changed state to up
*Mar 9 11:32:52.976: %LINK-3-UPDOWN: Interface EOBC18/1, changed state to up
*Mar 9 11:32:52.976: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface LI-Null0, changed
state to up
*Mar 9 11:32:52.977: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/0, changed state to
down
*Mar 9 11:32:52.977: %LINK-3-UPDOWN: Interface LIIN18/2, changed state to up
```

```

*Mar  9 11:32:52.977: %LINK-5-CHANGED: Interface Bluetooth0/4, changed state to
administratively down
*Mar  9 11:32:53.072: %PNP-6-PNP_DISCOVERY_STARTED: PnP Discovery started
*Mar  9 11:32:53.075: %HMANRP-6-HMAN_IOS_CHANNEL_INFO: HMAN-IOS channel event for switch
  1: EMP_RELAY: Channel UP!
*Mar  9 11:32:35.689: %STACKMGR-6-STACK_LINK_CHANGE: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Stack
port 1 on Switch 1 is cable-not-connected
*Mar  9 11:32:35.689: %STACKMGR-6-STACK_LINK_CHANGE: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Stack
port 2 on Switch 1 is down
*Mar  9 11:32:35.689: %STACKMGR-6-STACK_LINK_CHANGE: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Stack
port 2 on Switch 1 is cable-not-connected
*Mar  9 11:32:36.114: %STACKMGR-4-SWITCH_ADDED: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Switch 1 has
been added to the stack.
*Mar  9 11:32:38.537: %STACKMGR-4-SWITCH_ADDED: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Switch 1 has
been added to the stack.
*Mar  9 11:32:40.548: %STACKMGR-4-SWITCH_ADDED: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Switch 1 has
been added to the stack.
*Mar  9 11:32:40.548: %STACKMGR-6-ACTIVE_ELECTED: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Switch 1 has
been elected ACTIVE.
*Mar  9 11:32:53.079: %HMANRP-6-EMP_NO_ELECTION_INFO: Could not elect active EMP switch,
setting emp active switch to 0: EMP_RELAY: Could not elect switch with mgmt port UP
*Mar  9 11:32:53.541: %SYS-5-CONFIG_P: Configured programmatically by process MGMT VRF
Process from console as vty0
<output truncated>

```

次に、ルーティングデバイスに対する `show logging` コマンドの出力例を示します。

```
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 5 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)
```

```
No Active Message Discriminator.
```

```
No Inactive Message Discriminator.
```

```

Console logging: disabled
Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Buffer logging:  level debugging, 117 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Exception Logging: size (4096 bytes)
Count and timestamp logging messages: disabled
Persistent logging: disabled

```

```
No active filter modules.
```

```

Trap logging: level informational, 114 message lines logged
Logging Source-Interface:          VRF Name:
TLS Profiles:

```

```
Log Buffer (102400 bytes):
```

```

*Mar 10 08:51:07.464: %CRYPTO-5-SELF_TEST_START: Crypto algorithms release (Rel5b),
Entropy release (3.4.1)
begin self-test
*Mar 10 08:51:07.687: %CRYPTO-5-SELF_TEST_END: Crypto algorithms self-test completed
successfully
All tests passed.
*Mar 10 08:51:10.262: %SMART_LIC-6-AGENT_ENABLED: Smart Agent for Licensing is enabled
*Mar 10 08:51:10.428: %SMART_LIC-6-EXPORT_CONTROLLED: Usage of export controlled features
is not allowed

```

```

*Mar 10 08:51:13.266: SDWAN INFO: sdwan_if subsys init for autonomous mode
*Mar 10 08:51:13.266: SDWAN INFO: Received ctrl_mng_mode Enable event
*Mar 10 08:51:13.483: SDWAN INFO: IOS-SDWAN-RP: Registered for chasfs events, rc 0
*Mar 10 08:51:14.309: %SPANNTREE-5-EXTENDED_SYSID: Extended SysId enabled for type vlan
*Mar 10 08:51:14.312: %TLSCCLIENT-5-TLSCCLIENT_IOS: TLS Client is IOS based
*Mar 10 08:51:14.420: %CRYPTO_ENGINE-5-CSDL_COMPLIANCE_ENFORCED: Cisco PSB security
compliance is being enforced
*Mar 10 08:51:14.420: %CRYPTO_ENGINE-5-CSDL_COMPLIANCE_EXCEPTION_ADDED: Cisco PSB security
compliance exception has been added by this platform for use of RSA Key Size
*Mar 10 08:51:14.459: %CUBE-3-LICENSING: SIP trunking (CUBE) licensing is now based on
dynamic sessions counting, static license capacity configuration through 'mode
border-element license capacity' would be ignored.
*Mar 10 08:51:14.459: %SIP-5-LICENSING: CUBE license reporting period has been set to
the minimum value of 8 hours.
*Mar 10 08:51:14.496: %VOICE_HA-7-STATUS: CUBE HA-supported platform
detected.pm_platform_init() line :3156

*Mar 10 08:51:16.689: %IOSXE_RP_ALARM-2-PEM: ASSERT CRITICAL Power Supply Bay 1 Power
Supply/FAN Module Missing
*Mar 10 08:51:16.712: %CRYPTO_SL_TP_LEVELS-6-ROMMON_VAL: Current rommon value: T1
*Mar 10 08:51:16.712: %CRYPTO_SL_TP_LEVELS-6-TIER_BASED_LIC: Tier Based License Support:
1
*Mar 10 08:51:16.713: %CRYPTO_SL_TP_LEVELS-6-TP_THROTTLE_STATE: Crypto throughput is
throttled. New level is 250000
*Mar 10 08:51:16.762: %LINK-3-UPDOWN: Interface EOBC0, changed state to up
*Mar 10 08:51:16.779: %LINK-3-UPDOWN: Interface Lsmpi0, changed state to up
*Mar 10 08:51:16.779: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface LI-Null0, changed
state to up
*Mar 10 08:51:16.780: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface VoIP-Null0, changed
state to up
*Mar 10 08:51:16.780: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface SR0, changed state
to up
*Mar 10 08:51:16.781: %LINK-3-UPDOWN: Interface LIIN0, changed state to up
*Mar 10 08:51:16.929: %PNP-6-PNP_DISCOVERY_STARTED: PnP Discovery started
*Mar 10 08:50:14.051: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: Number of disks detected:1
*Mar 10 08:50:24.124: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: forcing config of LVM in
non-raid-enable case
*Mar 10 08:50:24.143: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: /obfl is not mounted yet,
sleeping...
*Mar 10 08:50:25.152: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: /obfl is not mounted yet,
sleeping...
*Mar 10 08:50:26.161: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: /obfl is not mounted yet,
sleeping...
*Mar 10 08:50:27.171: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: /obfl is not mounted yet,
sleeping...
*Mar 10 08:50:28.181: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: /obfl is not mounted yet,
sleeping...
*Mar 10 08:50:29.200: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: /obfl is not mounted yet,
sleeping...
*Mar 10 08:50:31.555: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: check_lvm_mismatch:
disk_count=1, pv_count=1, db_pv_uuid=PVUUID:vcxG9z-fWQg-QlyS-eeFk-kEVA-hmTX-Wiklni
uuid_count=1
*Mar 10 08:50:31.783: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: no mismatch found
*Mar 10 08:50:32.138: %IOSXE-6-PLATFORM: R0/0: disk-module: Volume group already existing
<output truncated>

```

次に、ワイヤレスデバイスに対する show logging コマンドの出力例を示します。

```

device#show logging
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 5 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)

No Active Message Discriminator.

```

No Inactive Message Discriminator.

```
Console logging: disabled
Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Buffer logging:  level debugging, 130 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Exception Logging: size (4096 bytes)
Count and timestamp logging messages: disabled
Persistent logging: disabled
```

No active filter modules.

```
Trap logging: level informational, 130 message lines logged
Logging Source-Interface:      VRF Name:
TLS Profiles:
```

Log Buffer (102400 bytes):

```
*Mar 10 08:50:59.304: %CRYPTO-5-SELF_TEST_START: Crypto algorithms release (Rel5b),
Entropy release (3.4.1)
begin self-test
*Mar 10 08:50:59.606: %CRYPTO-5-SELF_TEST_END: Crypto algorithms self-test completed
successfully
All tests passed.
*Mar 10 08:51:02.432: %SMART_LIC-6-AGENT_ENABLED: Smart Agent for Licensing is enabled
*Mar 10 08:51:02.661: %SMART_LIC-6-EXPORT_CONTROLLED: Usage of export controlled features
is not allowed
*Mar 10 08:51:05.434: SDWAN INFO: sdwan_if subsys init for autonomous mode
*Mar 10 08:51:05.434: SDWAN INFO: Received ctrl_mng_mode Enable event
*Mar 10 08:51:05.710: SDWAN INFO: IOS-SDWAN-RP: Registered for chasfs events, rc 0
*Mar 10 08:51:06.812: %SPANTREE-5-EXTENDED_SYSID: Extended SysId enabled for type vlan
*Mar 10 08:51:06.816: %TLSCLIENT-5-TLSCLIENT_IOS: TLS Client is IOS based
*Mar 10 08:51:06.938: %CRYPTO_ENGINE-5-CSDL_COMPLIANCE_ENFORCED: Cisco PSB security
compliance is being enforced
*Mar 10 08:51:06.938: %CRYPTO_ENGINE-5-CSDL_COMPLIANCE_EXCEPTION_ADDED: Cisco PSB security
compliance exception has been added by this platform for use of RSA Key Size
*Mar 10 08:51:06.982: %CUBE-3-LICENSING: SIP trunking (CUBE) licensing is now based on
dynamic sessions counting, static license capacity configuration through 'mode
border-element license capacity' would be ignored.
*Mar 10 08:51:06.982: %SIP-5-LICENSING: CUBE license reporting period has been set to
the minimum value of 8 hours.
*Mar 10 08:51:07.032: %VOICE_HA-7-STATUS: CUBE HA-supported platform
detected.pm_platform_init() line :3156

*Mar 10 08:51:09.341: %IOSXE_RP_ALARM-2-PEM: ASSERT CRITICAL Power Supply Bay 1 Power
Supply/FAN Module Missing
*Mar 10 08:51:09.378: %CRYPTO_SL_TP_LEVELS-6-ROMMON_VAL: Current rommon value: 1000000
*Mar 10 08:51:09.378: %CRYPTO_SL_TP_LEVELS-6-TIER_BASED_LIC: Tier Based License Support:
1
<output truncated>
```

show logging process

1つまたは複数のプロセスのバイナリトレースによってログに記録されたメッセージを表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **show logging process** コマンドを使用します。

show logging process *process-name*

構文の説明	<i>process-name</i>	ログを表示する必要がある特定のプロセスを選択できます。例： dbm 、 sman 、 ios 、 btman など。プロセス名では、大文字と小文字が区別されません。
コマンドデフォルト	すべてのモジュールのデフォルトのトレースレベルは notice です。	
コマンドモード	ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

次の例では、**notice** レベルより下のログを表示します。

```
device#show logging process ios level notice
Logging display requested on 2022/10/27 09:38:29 (PDT) for Hostname: [vwlc_1_9222],
Model: [C9800-CL-K9], Version: [17.11.01], SN: [9ZY0U03YBM0], MD_SN: [9ZY0U03YBM0]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis 1 ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2022/10/27 09:31:52.835197577 {iosrp_R0-0}{1}: [parser_cmd] [26471]: (note): id=
console@console:user= cmd: 'show logging process ios' SUCCESS 2022/10/27 08:31:48.762
PST
2022/10/27 09:31:59.651965736 {iosrp_R0-0}{1}: [parser_cmd] [26471]: (note): id=
console@console:user= cmd: 'show logging process ios internal' SUCCESS 2022/10/27
08:31:56.485 PST
2022/10/27 09:32:14.066181552 {iosrp_R0-0}{1}: [parser_cmd] [26471]: (note): id=
console@console:user= cmd: 'show logging process ios' SUCCESS 2022/10/27 08:32:06.271
PST
2022/10/27 09:38:16.803577389 {iosrp_R0-0}{1}: [parser_cmd] [26471]: (note): id=
console@console:user= cmd: 'show logging process ios level error' SUCCESS 2022/10/27
08:38:14.411 PST
=====
===== Unified Trace Decoder Information/Statistics =====
=====
----- Decoder Input Information -----
=====
Num of Unique Streams .. 1
Total UTF To Process ... 1
```

```

Total UTM To Process ... 77004
UTM Process Filter ..... ios
MRST Filter Rules ..... 48
=====
----- Decoder Output Information -----
=====
First UTM TimeStamp ..... 2022/10/27 02:21:47.048461994
Last UTM TimeStamp ..... 2022/10/27 09:38:28.248097600
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 77000 / 4 / 77004
UTM [ENCODED] ..... 76864
UTM [PLAIN TEXT] ..... 97
UTM [DYN LIB] ..... 0
UTM [MODULE ID] ..... 0
UTM [TDL TAN] ..... 43
UTM [APP CONTEXT] ..... 0
UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
=====

```

次の例では、プロセス名が **ios** のプロセスのトレースを表示します。

```

device#show logging process ios
Logging display requested on 2022/10/27 09:32:06 (PDT) for Hostname: [vwlc_1_9222],
Model: [C9800-CL-K9], Version: [17.11.01], SN: [9ZY0U03YBM0], MD_SN: [9ZY0U03YBM0]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis 1 ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2022/10/27 09:31:52.835197577 {iosrp_R0-0}{1}: [parser_cmd] [26471]: (note): id=
console@console:user= cmd: 'show logging process ios' SUCCESS 2022/10/27 08:31:48.762
PST
2022/10/27 09:31:59.651965736 {iosrp_R0-0}{1}: [parser_cmd] [26471]: (note): id=
console@console:user= cmd: 'show logging process ios internal' SUCCESS 2022/10/27
08:31:56.485 PST
=====
===== Unified Trace Decoder Information/Statistics =====
=====
----- Decoder Input Information -----
=====
Num of Unique Streams .. 1
Total UTF To Process ... 1
Total UTM To Process ... 75403
UTM Process Filter ..... ios
MRST Filter Rules ..... 4
=====
----- Decoder Output Information -----
=====
First UTM TimeStamp ..... 2022/10/27 02:21:47.048461994
Last UTM TimeStamp ..... 2022/10/27 09:32:04.919540850
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 75401 / 2 / 75403
UTM [ENCODED] ..... 75266
UTM [PLAIN TEXT] ..... 94
UTM [DYN LIB] ..... 0
UTM [MODULE ID] ..... 0
UTM [TDL TAN] ..... 43
UTM [APP CONTEXT] ..... 0
UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
=====

```


次の例では、プロセス名が **dbman** のプロセスのトレースを表示します。

```
device# show logging process dbman
Logging display requested on 2023/03/10 10:12:53 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis local ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

=====
===== Unified Trace Decoder Information/Statistics =====
----- Decoder Input Information -----
=====
Num of Unique Streams .. 1
Total UTF To Process ... 1
Total UTM To Process ... 62792
UTM Process Filter ..... dbman
MRST Filter Rules ..... 1
=====
----- Decoder Output Information -----
=====
First UTM TimeStamp ..... 2023/03/10 08:50:15.477092062
Last UTM TimeStamp ..... 2023/03/10 10:12:51.936845381
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 62792 / 0 / 62792
UTM [ENCODED] ..... 0
UTM [PLAIN TEXT] ..... 0
UTM [DYN LIB] ..... 0
UTM [MODULE ID] ..... 0
UTM [TDL TAN] ..... 0
UTM [APP CONTEXT] ..... 0
UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
UTM Level [EMERGENCY / ALERT / CRITICAL / ERROR] .. 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [WARNING / NOTICE / INFO / DEBUG] ..... 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [VERBOSE / NOISE / INVALID] ..... 0 / 0 / 0
=====
```

次の例では、Cisco SD-WAN プロセスのトレースを表示します。

```
Device# show logging process fpmd internal start last boot
Logging display requested on 2020/11/09 07:13:08 (UTC) for Hostname: [Device], Model:
[ISR4451-X/K9], Version: [17.04.01], SN: [FOC23125GHG], MD_SN: [FGL231432EQ]

Displaying logs from the last 7 days, 0 hours, 14 minutes, 55 seconds
executing cmd on chassis local ...

2020/11/02 07:00:59.314166 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [btrace] [7403]: (note): Btrace started
for process ID 7403 with 512 modules
2020/11/02 07:00:59.314178 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [btrace] [7403]: (note): File size max
used for rotation of tracelogs: 8192
2020/11/02 07:00:59.314179 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [btrace] [7403]: (note): File size max
used for rotation of TAN stats file: 8192
2020/11/02 07:00:59.314179 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [btrace] [7403]: (note): File rotation
timeout max used for rotation of TAN stats file: 600
2020/11/02 07:00:59.314361 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [btrace] [7403]: (note): Boot level
config file [/harddisk/tracelogs/level_config/fpmd_pman_R0-0] is not available. Skipping
2020/11/02 07:00:59.314415 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [benv] [7403]: (note): Environment
variable BINOS_BTRACE_LEVEL_MODULE_PMAN is not set
```

show logging process

```
2020/11/02 07:00:59.314422 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [benv] [7403]: (note): Environment
variable FPMD_BTRACE_LEVEL is not set
2020/11/02 07:00:59.314424 {fpmd_pman_R0-0}{1}: [fpmd_pman] [7403]: (note): BTRACE_FILE_SI
```

show logging process-helper

特定プロセスのログを表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **show logging process-helper** コマンドを使用します。

show logging process-helper *process-name*

構文の説明	<i>process-name</i>	ログを表示する必要がある特定のプロセスを選択できます。例： bt-logger 、 btrace-manager 、 ios 、 dbm 、 logger など。
コマンドデフォルト	すべてのモジュールのデフォルトのトレースレベルは notice です。	
コマンドモード	ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

次に、特定のプロセスのログを表示する例を示します。

```
Device# show logging process-helper ios
Logging display requested on 2023/03/13 10:30:29 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis local ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/13 10:30:16.884663022 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'enable' SUCCESS 2023/03/13 10:30:10.721 UTC
=====
===== Unified Trace Decoder Information/Statistics =====
----- Decoder Input Information -----
=====
Num of Unique Streams .. 1
Total UTF To Process ... 1
Total UTM To Process ... 88985
UTM Process Filter ..... IOSRP
MRST Filter Rules ..... 1
----- Decoder Output Information -----
=====
First UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:13:19.321653302
Last UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 10:30:27.267645695
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 88984 / 1 / 88985
UTM [ENCODED] ..... 1
UTM [PLAIN TEXT] ..... 0
```

```

UTM [DYN LIB] ..... 0
UTM [MODULE ID] ..... 0
UTM [TDL TAN] ..... 0
UTM [APP CONTEXT] ..... 0
UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
UTM Level [EMERGENCY / ALERT / CRITICAL / ERROR] .. 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [WARNING / NOTICE / INFO / DEBUG] ..... 0 / 1 / 0 / 0
UTM Level [VERBOSE / NOISE / INVALID] ..... 0 / 0 / 0
=====

```

show logging profile

特定プロファイルのログを表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **show logging profile** コマンドを使用します。

show logging profile *profile-name*

構文の説明

profile-name

- **all** : すべてのプロセスのログを表示します。
- **file** : 特定のプロファイルファイルのログを表示します。
- **hardware-diagnostics** : ハードウェア診断固有のプロセスのログを表示します。
- **install** : インストール固有のプロセスのログを表示します。
- **netconf-yang** : netconf-yang 固有のプロセスのログを表示します。
- **restconf** : restconf 固有のプロセスのログを表示します。
- **sdwan** : SDWAN 固有のプロセスのログを表示します。
- **wireless** : ワイヤレス固有のプロセスのログを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例

次に、すべてのプロセスのトレースログを表示する例を示します。

```
device# show logging profile all
Logging display requested on 2023/03/10 17:57:15 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]
```

```
Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis local ...
```

show logging profile

```

Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/10 17:47:58.925423708 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6412]: (note): Inserted
UTF(2) HT(old):droputil_R0-0[13] lnode
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7159_623.20230310174758.bin PID:7159
2023/03/10 17:47:59.925149151 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6412:17298]: (note): Inline
sync, enqueue BTF message flags:0x1, PID:17298
BTF:/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7159_622.20230310174708.bin
2023/03/10 17:47:59.932633561 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6412]: (note): utm delete
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7159_622.20230310174708.bin
2023/03/10 17:48:48.937338685 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6412]: (note): Inserted
UTF(2) HT(old):droputil_R0-0[13] lnode
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7159_624.20230310174848.bin PID:7159
2023/03/10 17:48:49.937053442 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6412:17298]: (note): Inline
sync, enqueue BTF message flags:0x1, PID:17298
BTF:/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7159_623.20230310174758.bin
<output truncated>

device#show logging profile all
Logging display requested on 2023/03/10 18:39:56 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis 1 ...

2023/03/10 18:32:54.755987 {IOSRP_R0-0}{1}: [iosrp] [22736]: (info): *Mar 10 18:32:54.755:
%SYS-6-TTY_EXPIRE_TIMER: (exec timer expired, tty 1 (10.68.217.91)), user cisco
2023/03/10 18:32:54.756076 {IOSRP_R0-0}{1}: [iosrp] [22736]: (info): *Mar 10 18:32:54.756:
%SYS-6-LOGOUT: User cisco has exited tty session 1(10.68.217.91)
2023/03/10 18:33:03.948149 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Job
1023 SAUtilityMeasurementJob, Matching 1023 SAUtilityMeasurementJob
2023/03/10 18:33:03.948170 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Find
the Job for removal 0x7FC0BD9A99F0
2023/03/10 18:33:03.948179 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Found the element for removal 0x7FC0BD9BF288 ->0x7FC0BD9BD5A8
2023/03/10 18:33:03.948185 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Removing Job SAUtilityMeasurementJob 0x7FC0BE3EF590, leaf 0x7FC0ADA357A0
2023/03/10 18:33:03.948191 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Attaching Job SAUtilityMeasurementJob to Exec Queue Head
2023/03/10 18:33:03.948197 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Executing from Queue, Job SAUtilityMeasurementJob (20)
2023/03/10 18:33:03.948214 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Setting SAUtilityMeasurementJob IN PROGRESS False to True
2023/03/10 18:33:03.948221 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-utility measurement start
2023/03/10 18:33:03.948227 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 18:33:03.948244 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 18:33:03.948251 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 18:33:03.948271 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/10 18:33:03.948277 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 18:33:03.948283 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 18:33:03.948303 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 18:33:03.948310 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/10 18:33:03.948315 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - started
2023/03/10 18:33:03.948321 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):

```

```
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 18:33:03.948327 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 18:33:03.948333 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 18:33:03.948339 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/10 18:33:03.948345 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[0], numEndPoints: 0
2023/03/10 18:33:03.948350 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[1], numEndPoints: 0
2023/03/10 18:33:03.948385 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant list built successfully, numGrant:
 2, numEndPoints: 0
2023/03/10 18:33:03.948391 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 18:33:03.948397 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 18:33:03.948403 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 18:33:03.948409 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
```

show logging profile wireless

特定プロファイルのログを表示するには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **show logging profile wireless** コマンドを使用します。

show logging profile wireless

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

次に、ワイヤレスプロファイルのログを表示する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless
Logging display requested on 2023/03/13 09:07:09 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis local ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/13 08:57:34.084609935 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless level info' SUCCESS 2023/03/13
08:57:31.376 UTC
2023/03/13 09:07:03.562290152 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless internal ' SUCCESS 2023/03/13
08:58:51.922 UTC
=====
===== Unified Trace Decoder Information/Statistics =====
----- Decoder Input Information -----
=====
Num of Unique Streams .. 1
Total UTF To Process ... 1
Total UTM To Process ... 55410
UTM Process Filter .....
```



```

=====
MRST Filter Rules ..... 24
=====
----- Decoder Output Information -----
=====
First UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:13:19.321653302
Last UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 09:07:08.462269864
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 55408 / 2 / 55410
UTM [ENCODED] ..... 2
UTM [PLAIN TEXT] ..... 0
UTM [DYN LIB] ..... 0
UTM [MODULE ID] ..... 0
UTM [TDL TAN] ..... 0
UTM [APP CONTEXT] ..... 0
UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
UTM Level [EMERGENCY / ALERT / CRITICAL / ERROR] .. 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [WARNING / NOTICE / INFO / DEBUG] ..... 0 / 2 / 0 / 0
UTM Level [VERBOSE / NOISE / INVALID] ..... 0 / 0 / 0
=====

```

次に、ワイヤレスプロファイルのログを表示する例を示します。

```

Device# show logging profile wireless
Logging display requested on 2023/03/13 09:18:51 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis 1 ...

2023/03/13 09:18:03.943258 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Job
 1023 SAUtilityMeasurementJob, Matching 1023 SAUtilityMeasurementJob
2023/03/13 09:18:03.943280 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Find
 the Job for removal 0x7FC0BE3E8CE0
2023/03/13 09:18:03.943300 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Found the element for removal 0x7FC0BD9BEA8 ->0x7FC0BD9BE878
2023/03/13 09:18:03.943307 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Removing Job SAUtilityMeasurementJob 0x7FC0BD9A7C40, leaf 0x7FC0ADA357A0
2023/03/13 09:18:03.943313 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Attaching Job SAUtilityMeasurementJob to Exec Queue Head
2023/03/13 09:18:03.943319 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Executing from Queue, Job SAUtilityMeasurementJob (20)
2023/03/13 09:18:03.943325 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Setting SAUtilityMeasurementJob IN PROGRESS False to True
2023/03/13 09:18:03.943342 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-utility measurement start
2023/03/13 09:18:03.943349 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 09:18:03.943355 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 09:18:03.943361 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/13 09:18:03.943367 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/13 09:18:03.943373 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 09:18:03.943398 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 09:18:03.943405 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]

```

show logging profile wireless

```
2023/03/13 09:18:03.943411 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/13 09:18:03.943417 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - started
2023/03/13 09:18:03.943423 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 09:18:03.943429 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 09:18:03.943434 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/13 09:18:03.943440 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/13 09:18:03.943446 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[0], numEndPoints: 0
2023/03/13 09:18:03.943490 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[1], numEndPoints: 0
2023/03/13 09:18:03.943497 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant list built successfully, numGrant:
  2, numEndPoints: 0
2023/03/13 09:18:03.943503 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 09:18:03.943509 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 09:18:03.943515 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/13 09:18:03.943521 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/13 09:18:03.943527 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Checking 0
tag[regid.2017-03.com.cisco.advantagek9,1.0_bd1da96e-ec1d-412b-a50e-53846b347d53] handle[1]
utility[0x7FC0B1BDA340]
2023/03/13 09:18:03.943533 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-process append measurement
2023/03/13 09:18:03.943538 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Returning NULL for item 8
2023/03/13 09:18:03.943586 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-There are 1 Raw Udi's and 1 Unique Udi's
2023/03/13 09:18:03.943593 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 09:18:03.943599 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 09:18:03.943605 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
<output truncated>
```

show logging profile wireless end

フィルタリングのためにログフィルタリングの終了位置のタイムスタンプを指定するには、**show logging profile wireless end timestamp** コマンドを使用します。

```
show logging profile wireless end timestamp time-stamp
show logging profile wireless end timestamp time-stamp
```

構文の説明	<i>time-stamp</i>	フィルタリングを終了するタイムスタンプ。たとえば、2023/02/10 14:41:50.849 です。
コマンドデフォルト	なし	
コマンドモード	ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

例

次に、フィルタリングのためにログフィルタリングの開始/終了位置のタイムスタンプを指定する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless internal start timestamp "2018/07/16 23:09:52.541"
end timestamp "2018/07/16 23:19:52.671" to-file test

excuting cmd on chassis 1 ...
Files being merged in the background, result will be in /bootflash/test log file.
Collecting files on current[1] chassis.
Decoding files:
btrace decoder:          number of files: [48]  number of messages: [5736]
    2018-07-16 23:23:51.451 - btrace decoder processed 17%
    2018-07-16 23:23:51.585 - btrace decoder processed 34%
    2018-07-16 23:23:51.832 - btrace decoder processed 52%
    2018-07-16 23:23:52.108 - btrace decoder processed 69%
    2018-07-16 23:23:52.138 - btrace decoder processed 87%
    2018-07-16 23:23:52.222 - btrace decoder processed 98%
```

show logging profile wireless filter

ログのフィルタを指定するには、**show logging profile wireless filter** コマンドを使用します。

\

```
show logging profile wireless filter { interface | ipv4 | ipv6 | mac | ra | string | uuid }
```

構文の説明		
	interface	特定のインターフェイスアプリケーションコンテキストを持つログを選択します。
	ipv4	特定の IPv4 アドレス アプリケーション コンテキストを持つログを選択します。
	ipv6	特定の IPv6 アドレス アプリケーション コンテキストを持つログを選択します。
	mac	特定の MAC アプリケーション コンテキストを含むログを選択します。
	string	特定の文字列アプリケーションコンテキストを含むログを選択します。
	uuid	特定の汎用一意識別子 (UUID) アプリケーション コンテキストを含むログを選択します。
	ra	放射線ログを選択します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

次に、ログのフィルタを指定する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless filter mac ECE1.A9DA.0CEO
executing cmd on chassis 1 ...
Collecting files on current[1] chassis.
```

Total # of files collected = 28
 Decoding files:

```

/harddisk/tracelogs/tmp_trace/nmspd_pmanlog_R0-0.3187_0.20171107021702.bin:
DECODE(22:0:22:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/rrm_pmanlog_R0-0.6868_0.20171107021710.bin: DECODE(22:0:22:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/repn_pmanlog_R0-0.5836_0.20171107021708.bin:
DECODE(24:0:24:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/rogued_pmanlog_R0-0.6232_0.20171107021708.bin:
DECODE(22:0:22:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/fman_fp_F0-0.1940_1.20171107030724.bin: DECODE(5736:0:5736:5)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/mobilityd_pmanlog_R0-0.388_0.20171107021659.bin:
DECODE(22:0:22:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/odm_proxy_pmanlog_R0-0.4237_0.20171107021704.bin:
DECODE(21:0:21:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/mobilityd_R0-0.1045_0.20171107021729.bin:
DECODE(141:0:141:17)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/odm_R0-0.4371_0.20171107021707.bin: DECODE(36:0:36:5)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/fman_fp_image_pmanlog_F0-0.1439_0.20171107021700.bin:
DECODE(27:0:27:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/odm_pmanlog_R0-0.3944_0.20171107021704.bin: DECODE(21:0:21:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/smd_R0-0.7893_0.20171107021753.bin: DECODE(397:0:397:16)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/fman_rp_R0-0.29955_0.20171107021745.bin:
DECODE(4771:0:4771:20)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/nmspd_R0-0.3536_0.20171107021733.bin: DECODE(16:0:16:6)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/rrm_bg_R0-0.7189_0.20171107021739.bin: DECODE(119:0:119:15)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/fman_rp_pmanlog_R0-0.29615_0.20171107021654.bin:
DECODE(22:0:22:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/odm_proxy_R0-0.4595_0.20171107021705.bin: DECODE(13:0:13:6)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/wncmgrd_pmanlog_R0-0.9422_0.20171107021715.bin:
DECODE(22:0:22:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/IOSRP_R0-0.23248_2.20171107035525.bin: DECODE(7:0:7:0)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/wncd_pmanlog_R0-0.9085_0.20171107021714.bin:
DECODE(31:0:31:1)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/rogued_R0-0.6521_0.20171107021735.bin: DECODE(65:0:65:13)
/harddisk/tracelogs/tmp_trace/repn_R0-0.6183_0.20171107021710.bin: DECODE(93:0:93:6)
2017/11/07 03:55:14.202 {wncd_x_R0-0}{1}: [apmgr-capwap-join] [9437]: UUID: 100000000a5a,
ra: 15, (info): ece1.a9da.0ce0 Radio slot entries created during join for: Radio Slot:
1, Radio Type: 2 Radio Sub Type: 0, Band Id: 1
2017/11/07 03:55:14.202 {wncd_x_R0-0}{1}: [apmgr-capwap-join] [9437]: UUID: 100000000a5a,
ra: 15, (info): ece1.a9da.0ce0 Radio slot entries created during join for: Radio Slot:
0, Radio Type: 1 Radio Sub Type: 0, Band Id: 0
2017/11/07 03:55:14.202 {wncd_x_R0-0}{1}: [apmgr-db] [9437]: UUID: 100000000a5a, ra:
15, (info): ece1.a9da.0ce0 AP association tag record is not found. Associate default
tags to the AP
2017/11/07 03:55:14.202 {wncd_x_R0-0}{1}: [apmgr-db] [9437]: UUID: 100000000a5a, ra:
15, (info): ece1.a9da.0ce0 AP Tag information: Policy Tag - default-policy-tag Site Tag
- default-site-tag RF Tag - default-rf-tag
2017/11/07 03:55:14.202 {wncd_x_R0-0}{1}: [apmgr-db] [9437]: UUID: 100000000a5a, ra:
15, (info): ece1.a9da.0ce0 Operation state of AP changed to: Registered
2017/11/07 03:55:14.204 {wncd_x_R0-0}{1}: [capwapac-smgr-srvr] [9437]: UUID: 100000000a5a,
ra: 15, (info): Session-IP: 90.90.90.22[51099] Mac: ece1.a9da.0ce0 Join processing
complete. AP in joined state
2017/11/07 03:55:14.210 {wncmgrd_R0-0}{1}: [hl-core] [9739]: UUID: 100000000a5c, ra:
15, (debug): Radio information changed for AP ece1.a9da.0ce0 but hyperlocation method
is detected as unknown and will not be used for L1 scan list query to CMX.
    
```

show logging profile wireless fru

Field Replaceable Unit (FRU) 固有のコマンドを指定するには、**show logging profile wireless fru** コマンドを使用します。

show logging profile wireless fru

構文の説明	0	SM-Inter-Processor slot 0
	1	SM-Inter-Processor slot 1
	F0	Embedded-Service-Processor slot 0
	FP	Embedded-Service-Processor
	R0	Route-Processor slot 0
	RP	Route-Processor

コマンド デフォルト なし

コマンド モード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

例

次に、FRU 固有のコマンドを指定する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless fru switch standby R0
Logging display requested on 2023/03/13 07:39:11 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
Unicasting cmd: chassis 1 route-processor 0

2023/03/13 07:29:23.629642 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless fru 0' FAILURE 07:29:23
UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 07:29:32.483351 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless fru switch' FAILURE
07:29:32 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 07:33:03.935762 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Job
1023 SAUtilityMeasurementJob, Matching 1023 SAUtilityMeasurementJob
```

```

2023/03/13 07:33:03.935782 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Find
the Job for removal 0x7FC0BD9A7E20
2023/03/13 07:33:03.935805 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Found the element for removal 0x7FC0BD9BD5A8 ->0x7FC0BD9BF640
2023/03/13 07:33:03.935812 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Removing Job SAUtilityMeasurementJob 0x7FC0BE3EFB30, leaf 0x7FC0ADA357A0
2023/03/13 07:33:03.935833 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Attaching Job SAUtilityMeasurementJob to Exec Queue Head
2023/03/13 07:33:03.935839 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Executing from Queue, Job SAUtilityMeasurementJob (20)
2023/03/13 07:33:03.935845 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Setting SAUtilityMeasurementJob IN PROGRESS False to True
2023/03/13 07:33:03.935859 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-utility measurement start
2023/03/13 07:33:03.935865 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 07:33:03.935872 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 07:33:03.935877 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/13 07:33:03.935883 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/13 07:33:03.935889 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 07:33:03.935895 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 07:33:03.935901 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/13 07:33:03.935906 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/13 07:33:03.935923 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - started
2023/03/13 07:33:03.935929 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 07:33:03.935935 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 07:33:03.935945 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/13 07:33:03.935953 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/13 07:33:03.935959 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[0], numEndPoints: 0
2023/03/13 07:33:03.935965 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[1], numEndPoints: 0
2023/03/13 07:33:03.935970 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant list built successfully, numGrant:
2, numEndPoints: 0
2023/03/13 07:33:03.935976 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/13 07:33:03.936003 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/13 07:33:03.936010 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/13 07:33:03.936016 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]

```

show logging profile wireless internal

すべてのログを選択するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用します。

show logging profile wireless internal

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

例

次に、すべてのログを表示する例を示します。

```
Device #show logging profile wireless internal
Logging display requested on 2023/03/13 07:47:30 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis 1 ...

2023/03/13 07:37:33.213009 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless fru switch active
instance ' FAILURE 07:37:33 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 07:38:04.219243 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless fru switch active'
FAILURE 07:38:04 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 07:38:09.775467 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless fru switch active '
FAILURE 07:38:09 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 07:38:21.523864 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Got test request
from gold server
2023/03/13 07:38:21.523873 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Sending gold
response msg 29453, test 14, result 1
2023/03/13 07:38:21.523891 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled tx ok
2023/03/13 07:38:21.523892 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled done
msg
2023/03/13 07:38:21.523894 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): fmanfp gold got
new test req, with req id 14, msg id = 29453
2023/03/13 07:38:21.524058 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): success, err obj
NOT found.
2023/03/13 07:38:21.524059 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Sending gold
```



```

response msg 29453, test 14, result 1
2023/03/13 07:38:21.524067 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled tx ok
2023/03/13 07:38:21.524068 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled done
msg
2023/03/13 07:38:21.524270 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Got test request
from gold server
2023/03/13 07:38:21.524272 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Sending gold
response msg 29454, test 15, result 1
2023/03/13 07:38:21.524283 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled tx ok
2023/03/13 07:38:21.524283 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled done
msg
2023/03/13 07:38:21.524284 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): fmanfp gold got
new test req, with req id 15, msg id = 29454
2023/03/13 07:38:21.524420 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): success, err obj
NOT found.
2023/03/13 07:38:21.524421 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Sending gold
response msg 29454, test 15, result 1
2023/03/13 07:38:21.524427 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled tx ok
2023/03/13 07:38:21.524428 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled done
msg
2023/03/13 07:38:21.524605 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Got test request
from gold server
2023/03/13 07:38:21.524607 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Sending gold
response msg 29455, test 16, result 1
2023/03/13 07:38:21.524617 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled tx ok
2023/03/13 07:38:21.524618 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled done
msg
2023/03/13 07:38:21.524619 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): fmanfp gold got
new test req, with req id 16, msg id = 29455
2023/03/13 07:38:21.524754 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): success, err obj
NOT found.
2023/03/13 07:38:21.524755 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): Sending gold
response msg 29455, test 16, result 1
2023/03/13 07:38:21.524761 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled tx ok
2023/03/13 07:38:21.524762 {fman_fp_F0-0}{1}: [fman] [21369]: (note): marshalled done
msg
2023/03/13 07:38:25.492553 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless fru switch active 0'
SUCCESS 07:38:25 UTC Mon Mar 13 2023

```

次に、すべてのログを表示する例を示します。

```

Device# show logging profile wireless internal
Logging display requested on 2023/03/13 08:58:51 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis local ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/13 08:48:56.203638311 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless to-file' FAILURE 2023/03/13
08:48:56.202 UTC
2023/03/13 08:49:52.077502587 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless to-file mylog.txt' SUCCESS
2023/03/13 08:49:52.075 UTC
2023/03/13 08:50:55.161355814 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless to-file mylog 12' FAILURE
2023/03/13 08:50:55.159 UTC
2023/03/13 08:51:33.810030189 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless reverse ' SUCCESS 2023/03/13

```

show logging profile wireless internal

```

08:51:27.690 UTC
2023/03/13 08:53:08.782896142 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless module dbal ' SUCCESS
2023/03/13 08:53:08.257 UTC
2023/03/13 08:57:34.0846099935 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless level info' SUCCESS 2023/03/13
08:57:31.376 UTC
=====
===== Unified Trace Decoder Information/Statistics =====
=====
----- Decoder Input Information -----
=====
Num of Unique Streams .. 1
Total UTF To Process ... 1
Total UTM To Process ... 52029
UTM Process Filter .....
```

(Note: A large portion of the text in this block is heavily obscured by artifacts, likely due to a glitch in the source document. The visible text includes filter rules and decoder output statistics.)

```

MRST Filter Rules ..... 24
=====
----- Decoder Output Information -----
=====
First UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:13:19.321653302
Last UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:58:50.044495790
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 52023 / 6 / 52029
UTM [ENCODED] ..... 6
UTM [PLAIN TEXT] ..... 0
```

show logging profile wireless level

特定のレベルを超えるログを選択するには、**show logging profile wireless level** コマンドを使用します。

show logging profile wireless level { debug | error | info | notice | verbose | warning }

構文の説明		
	debug	デバッグレベルのトレースメッセージを選択します。
	error	エラーレベルのトレースメッセージを選択します。
	info	情報レベルのトレースメッセージを選択します。
	notice	通知レベルのトレースメッセージを選択します。
	verbose	詳細レベルのトレースメッセージを選択します。
	warning	警告レベルのトレースメッセージを選択します。

コマンドデフォルト すべてのモジュールのデフォルトのトレースレベルは **notice** です。

コマンドモード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

- 使用上のガイドライン**
- トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。**internal** キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。
 - トレースレベルは、出力されるトレースのタイプを決定します。各トレースメッセージには、トレースレベルが割り当てられます。プロセスまたはそのモジュールのトレースレベルがトレースメッセージと同じかそれ以上のレベルに設定されている場合は、トレースメッセージが表示され、それ以外の場合はスキップされます。たとえば、デフォルトのトレースレベルは **Notice** レベルであるため、**Notice** レベルおよび **Notice** レベル未満のすべてのトレースが含まれ、**Notice** レベルより上のトレースは除外されます。

例 次に、特定のレベルを超えるログを選択する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless level notice
Logging display requested on 2023/03/13 08:00:47 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]
```

```
Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
```



```

UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
UTM Level [EMERGENCY / ALERT / CRITICAL / ERROR] .. 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [WARNING / NOTICE / INFO / DEBUG] ..... 0 / 5 / 0 / 0
UTM Level [VERBOSE / NOISE / INVALID] ..... 0 / 0 / 0
=====
    
```



```

First UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:13:19.321653302
Last UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:53:05.793309753
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 45244 / 0 / 45244
UTM [ENCODED] ..... 0
UTM [PLAIN TEXT] ..... 0
UTM [DYN LIB] ..... 0
UTM [MODULE ID] ..... 0
UTM [TDL TAN] ..... 0
UTM [APP CONTEXT] ..... 0
UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
UTM Level [EMERGENCY / ALERT / CRITICAL / ERROR] .. 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [WARNING / NOTICE / INFO / DEBUG] ..... 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [VERBOSE / NOISE / INVALID] ..... 0 / 0 / 0
=====
    
```

show logging profile wireless reverse

ログを時系列の逆の順序で表示するには、**show logging profile wireless reverse** コマンドを使用します。

show logging profile wireless reverse

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

次に、時系列の逆順でログを表示する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless reverse
Logging display requested on 2023/03/13 08:18:40 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis 1 ...

2023/03/13 08:18:14.945968 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAOpModelJob-platform policy not available.
2023/03/13 08:18:14.945682 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAOpModelJob-platform policy not available.
2023/03/13 08:18:14.945339 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAOpModelJob-platform policy not available.
2023/03/13 08:18:14.944594 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Setting SAOperationalModelJob IN PROGRESS False to True
2023/03/13 08:18:14.944588 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Executing from Queue, Job SAOperationalModelJob (37)
2023/03/13 08:18:14.944582 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Attaching Job SAOperationalModelJob to Exec Queue Head
2023/03/13 08:18:14.944575 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Removing Job SAOperationalModelJob 0x7FC0BD9B3860, leaf 0x7FC0ADA35838
2023/03/13 08:18:14.944555 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Find
the Job for removal 0x7FC0BD9A68E0
2023/03/13 08:18:14.944536 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Job
1023 SAOperationalModelJob, Matching 1023 SAOperationalModelJob
2023/03/13 08:18:13.964201 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SASStorage-Get
Sys Data from PI Success
2023/03/13 08:18:13.962069 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
```



```

SAStorage-Attempt to release Write Lock.
2023/03/13 08:18:13.946593 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAStorage-Attempt to obtain Write Lock.
2023/03/13 08:18:13.946586 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAStorage-Writing to the Path <TS>/currentRUMReports.rum
2023/03/13 08:18:13.946562 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAStorage-Writing TS: ChkPt SmartAgentHaMethodTsPath, tsErasedOccurred False, numTsPaths
1
2023/03/13 08:18:13.946553 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAStorage-DeQueueing a TS Group currentRUMReports.rum
2023/03/13 08:18:13.944890 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAStorage-Initial TS Queue size 1 rc NoError(0)
2023/03/13 08:18:13.944884 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-Setting SAUtilityReportsSaveJob IN PROGRESS True to False
2023/03/13 08:18:13.944874 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-nextQ 0x7FC0BE3EBFD0, for job SAUtilityReportsSaveJob jobData 0x7FC0BD9BD420,
tcId 1023
2023/03/13 08:18:13.944867 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-Successfully start job SAOperationalModelJob timer leaf 1 Seconds
2023/03/13 08:18:13.944814 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-Attach job SAOperationalModelJob to XDM Leaf 0x7FC0ADA35838
2023/03/13 08:18:13.944808 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-JobFlag 0x111 not having the right prerequeset 0x02 for 0x20
2023/03/13 08:18:13.944802 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (ERR):
SAUtilRepSave-Tenant 1023 Job SAOperationalModelJob, attached flag set, but not in list
2023/03/13 08:18:13.944787 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave>About to Attach SAOperationalModelJob
2023/03/13 08:18:13.944781 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-Scheduling Sending the oper model notification for job name
SAUtilityReportsSaveJob
2023/03/13 08:18:13.944775 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-Successfully start job SAUtilityReportsSaveJob timer leaf 3600 Seconds
2023/03/13 08:18:13.944760 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-Attach job SAUtilityReportsSaveJob to XDM Leaf 0x7FC0ADA312C0
2023/03/13 08:18:13.944754 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-JobFlag 0x115 not having the right prerequeset 0x02 for 0x20
2023/03/13 08:18:13.944748 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (ERR):
SAUtilRepSave-Tenant 1023 Job SAUtilityReportsSaveJob, attached flag set, but not in
list
2023/03/13 08:18:13.944724 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave>About to Attach SAUtilityReportsSaveJob
2023/03/13 08:18:13.944718 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-commit reports to storage from reportsaveCB: Success
2023/03/13 08:18:13.944682 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-RUM report commit: Success
2023/03/13 08:18:13.944164 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-Queueing Up TS Group currentRUMReports.rum 0x7FC0BD9A68E0
2023/03/13 08:18:13.944158 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilRepSave-erase 1, force 1, anyChgd 1

```

```

Device# show logging profile wireless reverse ?
|      Output modifiers
<cr> <cr>

```

```

FABRIEK#show logging profile wireless reverse
Logging display requested on 2023/03/13 08:51:27 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]

```

```

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis local ...

```

```

=====
UTM Level [VERBOSE / NOISE / INVALID] ..... 0 / 0 / 0

```


show logging profile wireless start

ログフィルタリングの開始場所を指定するには、**show logging profile wireless start** コマンドを使用します。

show logging profile wireless start { last | marker | timestamp }

構文の説明	last	最後のイベント以降のログを表示します。
	marker	フィルタリングを開始するマーカー。これは、以前に設定したマーカーと一致している必要があります。
	timestamp	フィルタリングのタイムスタンプ。たとえば、「2023/02/10 14:41:50.849」です。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

例

次に、特定のマーカーからログフィルタリングを指定する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless start marker global
Logging display requested on 2023/03/13 08:57:50 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]

Start marker [global] at timestamp ["2023/03/10 14:12:41.685027" UTC] found
executing cmd on chassis 1 ...

2023/03/10 14:12:41.686658 {smd_R0-0}{1}: [btrace] [0]: (mark): global
2023/03/10 14:12:41.690920 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.217.91@vty0:user=cisco cmd: 'set logging marker global' SUCCESS 14:12:41 UTC Fri
Mar 10 2023
2023/03/10 14:12:57.134650 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.217.91@vty0:user=cisco cmd: 'show logging marker global' FAILURE 14:12:57 UTC Fri
Mar 10 2023
2023/03/10 14:18:03.930420 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Job
1023 SAUtilityMeasurementJob, Matching 1023 SAUtilityMeasurementJob
2023/03/10 14:18:03.930440 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note): SAMsgThread-Find
the Job for removal 0x7FC0BE3EC110
2023/03/10 14:18:03.930464 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
```

```

SAMsgThread-Found the element for removal 0x7FC0BD9BED80 ->0x7FC0BD9BD260
2023/03/10 14:18:03.930471 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Removing Job SAUtilityMeasurementJob 0x7FC0BD9A6430, leaf 0x7FC0ADA357A0
2023/03/10 14:18:03.930489 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Attaching Job SAUtilityMeasurementJob to Exec Queue Head
2023/03/10 14:18:03.930495 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Executing from Queue, Job SAUtilityMeasurementJob (20)
2023/03/10 14:18:03.930501 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAMsgThread-Setting SAUtilityMeasurementJob IN PROGRESS False to True
2023/03/10 14:18:03.930519 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-utility measurement start
2023/03/10 14:18:03.930526 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 14:18:03.930532 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 14:18:03.930538 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 14:18:03.930544 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/10 14:18:03.930549 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 14:18:03.930555 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 14:18:03.930561 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 14:18:03.930567 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/10 14:18:03.930583 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - started
2023/03/10 14:18:03.930589 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 14:18:03.930595 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 14:18:03.930601 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 14:18:03.930607 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/10 14:18:03.930613 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[0], numEndPoints: 0
2023/03/10 14:18:03.930619 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant[1], numEndPoints: 0
2023/03/10 14:18:03.930624 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Prepare grant request struct - grant list built successfully, numGrant:
  2, numEndPoints: 0
2023/03/10 14:18:03.930630 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[1], n[3]
2023/03/10 14:18:03.930654 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[2], n[2]
2023/03/10 14:18:03.930660 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[5], n[1]
2023/03/10 14:18:03.930666 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Get Handle List: next_id[6], n[0]
2023/03/10 14:18:03.930672 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-Checking 0
tag[regid.2017-03.com.cisco.advantagek9,1.0_bd1da96e-ec1d-412b-a50e-53846b347d53] handle[1]
  utility[0x7FC0B1BDA340]
2023/03/10 14:18:03.930678 {IOSRP_R0-0}{1}: [smart-agent] [22736]: (note):
SAUtilMeasurement-process append measurement
--More--

```

次に、最後のイベントからログフィルタリングを指定する例を示します。

```

Device# show logging profile wireless start last 455
Logging display requested on 2023/03/13 08:43:52 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 7 minutes, 35 seconds
executing cmd on chassis local ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/13 08:40:29.117013228 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'enable' SUCCESS 2023/03/13 08:40:24.272 UTC
2023/03/13 08:41:00.611072184 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless switch ' FAILURE 2023/03/13
08:41:00.609 UTC
2023/03/13 08:41:17.724209224 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless ' SUCCESS 2023/03/13
08:41:14.335 UTC
2023/03/13 08:43:36.172434464 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'show logging profile wireless start' FAILURE 2023/03/13
08:43:36.170 UTC
=====
===== Unified Trace Decoder Information/Statistics =====
----- Decoder Input Information -----
=====
Num of Unique Streams .. 1
Total UTF To Process ... 1
Total UTM To Process ... 41218
UTM Process Filter .....
cp,fin,fp,fr,pr,frp,frf,fd,dblib,msd,dp,py,oged,m,mp,wd,wog,wcd,x,IPF,sc,dy,stats,link,os,mg,wcloud,locat
MRST Filter Rules ..... 24
----- Decoder Output Information -----
=====
First UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:13:19.321653302
Last UTM TimeStamp ..... 2023/03/13 08:43:51.407251687
UTM [Skipped / Rendered / Total] .. 41214 / 4 / 41218
UTM [ENCODED] ..... 4
UTM [PLAIN TEXT] ..... 0
UTM [DYN LIB] ..... 0
UTM [MODULE ID] ..... 0
UTM [TDL TAN] ..... 0
UTM [APP CONTEXT] ..... 0
UTM [MARKER] ..... 0
UTM [PCAP] ..... 0
UTM [LUID NOT FOUND] ..... 0
UTM Level [EMERGENCY / ALERT / CRITICAL / ERROR] .. 0 / 0 / 0 / 0
UTM Level [WARNING / NOTICE / INFO / DEBUG] ..... 0 / 4 / 0 / 0
UTM Level [VERBOSE / NOISE / INVALID] ..... 0 / 0 / 0
=====

```

show logging profile wireless switch

ログを検索するスイッチを指定するには、**show logging profile wireless switch** コマンドを使用します。

show logging profile wireless switch { <switch-number> | **active** | **standby** }

構文の説明	<i>Chassis-number</i>	シャーシ番号。
	active	アクティブ インスタンスを選択します。
	standby	スタンバイ インスタンスを選択します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して **internal** キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

例

次に、ログを検索するシャーシ番号を指定する例を示します。

```
Device# show logging profile wireless switch 1
Logging display requested on 2023/03/13 08:31:03 (UTC) for Hostname: [BRU-C9K-153-05],
Model: [C9300-24T], Version: [17.03.05], SN: [FOC24140R40], MD_SN: [FOC2415U0XX]

Displaying logs from the last 0 days, 0 hours, 10 minutes, 0 seconds
executing cmd on chassis 1 ...

2023/03/13 08:23:38.572830 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless reverse' SUCCESS
08:23:38 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:23:47.635492 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch' FAILURE 08:23:47
UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:28:58.495768 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch 11' SUCCESS
08:28:58 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:29:05.679730 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch 3' SUCCESS
08:29:05 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:29:12.043540 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch 4' SUCCESS
08:29:12 UTC Mon Mar 13 2023
```

```
2023/03/13 08:29:23.347112 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch 4 active '
FAILURE 08:29:23 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:29:44.820050 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch active' SUCCESS
08:29:44 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:30:22.698250 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch standby metadata
' SUCCESS 08:30:22 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:30:36.009511 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch standby to-file'
FAILURE 08:30:36 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 08:30:49.762440 {IOSRP_R0-0}{1}: [parser_cmd] [14504]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user=cisco cmd: 'show logging profile wireless switch standby reverse'
SUCCESS 08:30:49 UTC Mon Mar 13 2023
```

show logging profile wireless to-file

ディスクに保存されているファイルをデコードし、出力をファイルに書き込むには、**show logging profile wireless to-file** コマンドを使用します。

show logging profile wireless to-file *output-file-name*

構文の説明	<i>output-file-name</i>	出力ファイル名。この名前のファイルが flash/bootflash/crashinfo/harddisk メモリに作成されま す。
-------	-------------------------	---

コマンド デフォルト なし

コマンド モード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トレース出力を取得するには、**show logging profile wireless internal** コマンドを使用して internal キーワードが有効になっていることを確認します。

internal キーワードを指定しないと、顧客がキュレートしたログのみが表示されます。

例 次に、ディスクに保存されているファイルをデコードし、出力をファイルに書き込む例を示します。

```
Device# show logging profile wireless to-file mylog.txt
excuting cmd on chassis 1 ...
Files being merged in the background, result will be in /bootflash/mylog.txt log file.

Device#
Device#dir bootflash:mylog.txt
Directory of bootflash:/mylog.txt

   39  -rw-          1698598  Oct 31 2017 05:29:11 +00:00  mylog.txt

7897796608 bytes total (3338383360 bytes free)
```


show logging profile sdwan

Cisco-SD-WAN 固有のプロセスおよびプロセスモジュールのバイナリトレースによってログに記録されたメッセージを表示するには、特権 EXEC モードで **show logging profile sdwan** コマンドを使用します。メッセージは時系列に表示されます。

show logging profile sdwan

```
[{ extract-pcap to-file path [[ end timestamp ts ] [ module name ] [ internal ] [ start { last { n { days | hours | minutes | seconds } clear boot } | timestamp ts } [ end { last { n { days | hours | minutes | seconds } clear boot } | timestamp ts } ] ] [ level level ] [ fru slot ] [ reverse | [ trace-on-failure | metadata ] ] [ to-file path ] ] ] }
```

構文の説明

extract-pcap to-file <i>path</i>	pcap データをファイルに抽出します。
end timestamp <i>ts</i>	指定されたタイムスタンプまでのログを表示します。
module <i>name</i>	特定のモジュールのログを選択します。
internal	すべてのログを選択します。
start { last { <i>n</i> { days hours minutes seconds } clear boot } timestamp <i>ts</i> } [end { last { <i>n</i> { days hours minutes seconds } clear boot } timestamp <i>ts</i> }] }	指定した開始時刻と終了時刻の間に収集されたログを表示します。
level <i>level</i>	指定したレベル以上のログを表示します。
fru <i>slot</i>	特定の FRU からのログを表示します。
reverse	時系列の逆順でログを表示します。
to-file <i>path</i>	ディスクに保存されているファイルをデコードし、出力をファイルに書き込みます。
trace-on-failure	障害サマリーのトレースを表示します。
metadata	すべてのログメッセージのメタデータを表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE リリース 17.4.1a	一部の Cisco SD-WAN プロセスでコマンドのサポートが導入されました。

使用上のガイドライン 表 2: サポートされる Cisco SD-WAN デーモン

Cisco SD-WAN デーモン	サポートされているリリース
<ul style="list-style-type: none"> • fpmd • ftm • ompd • vdaemon • cfgmgr 	Cisco IOS XE リリース 17.4.1a

例

次に、**show logging profile sdwan start last boot internal** コマンドの切り詰められた出力の例を示します。タイムスタンプから、メッセージが時系列順に表示されていることがわかります。

```
Device# show logging profile sdwan start last boot internal
Logging display requested on 2020/11/18 18:59:16 (UTC) for Hostname: [Device], Model:
[ISR4451-X/K9], Version: [17.04.01], SN: [FOC23125GHG], MD_SN: [FGL231432EQ]

Displaying logs from the last 1 days, 10 hours, 0 minutes, 20 seconds
executing cmd on chassis local ...
.
.
.
2020/11/20 10:25:52.195149 {vdaemon_R0-0}{1}: [misc] [10969]: (ERR): Set chassis-number
- ISR4451-X/K9-FOC23125GHG in confd
2020/11/20 10:25:52.198958 {vdaemon_R0-0}{1}: [misc] [10969]: (ERR): Root-CA file exists
- Set it in CDB
2020/11/20 10:25:52.200462 {vdaemon_R0-0}{1}: [vipcommon] [10969]: (debug): chasfs
property_create success sw-vip-vdaemon-done
2020/11/20 10:25:52.201467 {vip_conf_d_startup_sh_R0-0}{1}: [btrace_sh] [6179]: (note):
INOTIFY /tmp/chassis/local/rp/chasfs/rp/0/0/confd/ CREATE sw-vip-vdaemon-done
2020/11/20 10:25:52.202184 {vip_conf_d_startup_sh_R0-0}{1}: [btrace_sh] [6179]: (note):
INOTIFY /tmp/chassis/local/rp/chasfs/rp/0/0/confd/ CLOSE_WRITE-CLOSE sw-vip-vdaemon-done
2020/11/20 10:25:52.238625 {vdaemon_R0-0}{1}: [vipcommon] [10969]: (debug):
[/usr/sbin/iptables -w -A LOGGING -m limit --limit 5/m -j LOG --log-prefix
"iptables-dropped:" --log-level 6] exited with ret: 2, output: iptables v1.8.3 (legacy):
Couldn't load match `limit':No such file or directory
2020/11/20 10:25:52.242402 {vdaemon_R0-0}{1}: [vipcommon] [10969]: (debug):
[/usr/sbin/ip6tables -w -A LOGGING -m limit --limit 5/m -j LOG --log-prefix
"ip6tables-dropped:" --log-level 6] exited with ret: 2, output: ip6tables v1.8.3 (legacy):
Couldn't load match `limit':No such file or directory
2020/11/20 10:25:52.254181 {vdaemon_R0-0}{1}: [misc] [10969]: (ERR): Error removing
/usr/share/viptela/proxy.crt
2020/11/20 10:25:52.692474 {vdaemon_R0-0}{1}: [confd] [10969]: (ERR): Flags=1,
device-type=1, vbond-dns=0, domain-id=0, site-id=0, system-ip=0, wan-intf=0, org-name=0,
cert-inst=0, root-cert-inst=0, port-offset=0, uuid=0
2020/11/20 10:25:52.692486 {vdaemon_R0-0}{1}: [confd] [10969]: (ERR): Returning 0
.
.
.
2020/11/20 10:26:24.669716 {fpmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14140]: (note): Btrace
started for process ID 14140 with 512 modules
2020/11/20 10:26:24.669721 {fpmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14140]: (note): File size
```

```

max used for rotation of tracelogs: 8192
.
.
2020/11/20 10:26:25.001528 {fpmd_R0-0}{1}: [fpmd] [14271]: (note): FPMD BTRACE INIT DONE
2020/11/20 10:26:25.001551 {fpmd_R0-0}{1}: [vipcommon] [14271]: (note): Vipcommon btrace
init done
2020/11/20 10:26:25.001563 {fpmd_R0-0}{1}: [chmgr_api] [14271]: (note): Chmgr_api btrace
init done
2020/11/20 10:26:25.022479 {ftmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14364]: (note): Btrace
started for process ID 14364 with 512 modules
2020/11/20 10:26:25.022484 {ftmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14364]: (note): File size
max used for rotation of tracelogs: 8192
2020/11/20 10:26:25.022484 {ftmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14364]: (note): File size
max used for rotation of TAN stats file: 8192
2020/11/20 10:26:25.022485 {ftmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14364]: (note): File rotation
timeout max used for rotation of TAN stats file: 600
2020/11/20 10:26:25.022590 {ftmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14364]: (note): Boot level
config file [/harddisk/tracelogs/level_config/ftmd_pmanlog_R0-0] is not available.
Skipping
2020/11/20 10:26:25.022602 {ftmd_pmanlog_R0-0}{1}: [btrace] [14364]: (note): Setting
level to 5 from [BINOS_BTRACE_LEVEL_MODULE_BTRACE_SH]=[NOTICE]
2020/11/20 10:26:25.037903 {fpmd_R0-0}{1}: [cyan] [14271]: (warn): program path package
name rp_security does not match .pkginfo name mono
2020/11/20 10:26:25.038036 {fpmd_R0-0}{1}: [cyan] [14271]: (note): Successfully initialized
cyan library for /tmp/sw/rp/0/0/rp_security/mount/usr/binos/bin/fpmd with
/tmp/cyan/0/mono.cdb
2020/11/20 10:26:26.206844 {ftmd_R0-0}{1}: [tdllib] [14517]: (note): Flag tdlh stale
epoch for all tdl handles
2020/11/20 10:26:26.206853 {ftmd_R0-0}{1}: [tdllib] [14517]: (note): Detect newly epoch
file generated: /tmp/tdlresolve/epoch_dir/active, new epoch:
/tmp/tdlresolve/epoch_dir//2020_11_20_10_23_8925.epoch
2020/11/20 10:26:26.206866 {ftmd_R0-0}{1}: [tdllib] [14517]: (note): epoch file read
/tmp/tdlresolve/epoch_dir//2020_11_20_10_23_8925.epoch
2020/11/20 10:26:26.334529 {plogd_R0-0}{1}: [plogd] [5353]: (debug): Sending: facility
16. %Cisco-SDWAN-RP_0-CFGMGR-4-WARN-300001: R0/0: CFGMGR: Connection to ftm is up
2020/11/20 10:26:26.334580 {plogd_R0-0}{1}: [plogd] [5353]: (debug): Sending: facility
16. %Cisco-SDWAN-Atlantis-B4-FTMD-4-WARN-1000007: R0/0: FTMD: Connection to TTM came
up. p_msgq 0x564c7606bc30 p_ftm 0x564c7514d8b0
2020/11/20 10:26:26.335175 {IOSRP_R0-0}{1}: [iosrp] [15606]: (warn): *Nov 20 10:26:26.335:
%Cisco-SDWAN-RP_0-CFGMGR-4-WARN-300001: R0/0: CFGMGR: Connection to ftm is up
.
.
.

```

show logging profile sdwan internal

Cisco-SD-WAN 固有のプロセスおよびプロセスモジュールのバイナリトレースによってログに記録されたメッセージを表示するには、特権 EXEC モードで **show logging profile sdwan internal** コマンドを使用します。メッセージは時系列に表示されます。

show logging profile sdwan internal

構文の説明	end timestamp <i>ts</i>	指定されたタイムスタンプまでのログを表示します。
	start { last { <i>n</i> { days hours minutes seconds } clear boot } timestamp <i>ts</i> } [end { last { <i>n</i> { days hours minutes seconds } clear boot } timestamp <i>ts</i> }]	指定した開始時刻と終了時刻の間に収集されたログを表示します。
	level <i>level</i>	指定したレベル以上のログを表示します。
	fru <i>slot</i>	特定の FRU からのログを表示します。
	reverse	時系列の逆順でログを表示します。
	to-file <i>path</i>	ディスクに保存されているファイルをデコードし、出力をファイルに書き込みます。
	trace-on-failure	障害サマリーのトレースを表示します。
	metadata	すべてのログメッセージのメタデータを表示します。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド モード	特権 EXEC	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE リリース 17.4.1a	一部の Cisco SD-WAN プロセスでコマンドのサポートが導入されました。

使用上のガイドライン 表 3: サポートされる Cisco SD-WAN デーモン

Cisco SD-WAN デーモン	サポートされているリリース
<ul style="list-style-type: none"> • fpmd • ftm • ompd • vdaemon • cfgmgr 	Cisco IOS XE リリース 17.4.1a

例

```
Device# show logging profile sdwan internal start last boot
Logging display requested on 2023/03/17 20:24:21 (UTC) for Hostname: [FABRIEK], Model:
[C8300-1N1S-4T2X], Version: [17.12.01], SN: [FDO24190V85], MD_SN: [FDO2451M13G]

Displaying logs from the last 0 days, 11 hours, 43 minutes, 34 seconds
executing cmd on chassis local ...
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/17 08:40:49.204368658 {binos_R0-0}{255}: [btrace_sh] [7615]: (note): Device mode
is autonomous
2023/03/17 08:40:49.207063476 {binos_R0-0}{255}: [btrace_sh] [7615]: (note): Device mode
is autonomous
2023/03/17 08:40:49.222900086 {binos_R0-0}{255}: [btrace_sh] [7615]: (note): Image is
unified
2023/03/17 08:40:49.227106778 {binos_R0-0}{255}: [btrace_sh] [7615]: (note): Image allows
controller mode
2023/03/17 08:40:49.227163533 {binos_R0-0}{255}: [btrace_sh] [7615]: (note): continue
in AUTONOMOUS mode
2023/03/17 08:40:49.348891716 {binos_R0-0}{255}: [btrace_sh] [7615]: (note): setting
device mode to autonomous in rommon
2023/03/17 08:40:49.349197442 {binos_R0-0}{255}: [btrace_sh] [7615]: (note): setting
device mode to autonomous in chasfs
2023/03/17 08:40:51.145357889 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): Btrace started
for process IOSRP ID 3693 with 446 modules
2023/03/17 08:40:51.145360439 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): File size max
used for rotation of tracelogs: 1048576
2023/03/17 08:40:51.145360722 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): File size max
used for rotation of TAN stats file: 1048576
2023/03/17 08:40:51.145360907 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): File rotation
timeout max used for rotation of TAN stats file: 600
2023/03/17 08:40:51.145361152 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): Bproc Name:IOSRP
pman:0
2023/03/17 08:40:51.145469793 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): Boot level
config file [/harddisk/tracelogs/level_config/IOSRP_R0-0] is not available. Skipping
2023/03/17 08:40:51.145480353 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): module init:
(iosrp), huffman code len=27, code: 0x1d.86.bf.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:51.358147091 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): module init:
(syshw), huffman code len=38, code: 0x03.74.87.8a.20.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:51.358352395 {iosrp_R0-0}{255}: [syshw] [3693]: (ERR): syshw build
device: could not add register 5 dev: /sys/bus/platform/devices/cpld/phys_slot_number
(No such file or directory) due to No such file or directory
2023/03/17 08:40:51.358372681 {iosrp_R0-0}{255}: [syshw] [3693]: (ERR): syshw build
device: could not add register 7 dev: /sys/bus/platform/devices/cpld/reg_rp_sku_register
```

```
(No such file or directory) due to No such file or directory
2023/03/17 08:40:51.358507185 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): module init:
(flash), huffman code len=28, code: 0x3d.90.78.80.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:51.359001716 {iosrp_R0-0}{255}: [flash] [3693]: (note):
Neptune/Radium/Thallium platform detected - use NEPTUNE/RADIUM/THALLIUM flash offset
values
2023/03/17 08:40:51.359019217 {iosrp_R0-0}{255}: [flash] [3693]: (note): Flashlib: using
native flash read/writes
2023/03/17 08:40:51.364902464 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): module init:
(prelib), huffman code len=32, code: 0xfe.96.c7.a8.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:51.369704568 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): module init:
(thpool), huffman code len=34, code: 0xcf.1f.de.ee.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:51.370335191 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693:14198]: (note): module
init: (services), huffman code len=40, code:
0x05.d1.91.45.08.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:51.379647650 {iosrp_R0-0}{255}: [chasfs] [3693]: (ERR): property open:
property console does not exist: /tmp/chassis/local/rp/chasfs/rp/console
2023/03/17 08:40:52.210928762 {iosrp_R0-0}{255}: [btrace] [3693]: (note): module init:
(evlib), huffman code len=29, code: 0x53.36.3d.40.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:52.246163846 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): Btrace started
for process plogd ID 4760 with 512 module

2023/03/17 08:40:52.246167612 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): File size max
used for rotation of tracelogs: 131072
2023/03/17 08:40:52.246168032 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): File size max
used for rotation of TAN stats file: 131072
2023/03/17 08:40:52.246168329 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): File rotation
timeout max used for rotation of TAN stats file: 600
2023/03/17 08:40:52.246168702 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): Bproc Name:plogd
pman:0
2023/03/17 08:40:52.246332428 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): Boot level
config file [/harddisk/tracelogs/level_config/plogd_R0-0] is not available. Skipping
2023/03/17 08:40:52.246334622 {plogd_R0-0}{255}: [plogd] [4760]: (note): Starting plogd
from /tmp/sw/rp/0/0/rp_security/mount/usr/binos/bin/plogd as pid 4760
2023/03/17 08:40:52.246423255 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): module init:
(evlib), huffman code len=29, code: 0x53.36.3d.40.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:52.246615549 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): module init:
(services), huffman code len=40, code: 0x05.d1.91.45.08.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:52.246738253 {plogd_R0-0}{255}: [btrace] [4760]: (note): module init:
(cyan), huffman code len=30, code: 0x43.74.97.20.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00
2023/03/17 08:40:52.246802268 {plogd_R0-0}{255}: [cyan] [4760]: (warn): program path
package name rp_security does not match .pkginfo name mono
<output truncated>
```

show log file

bootflash:、crashinfo:、flash:、harddisk:、または webui: のログファイルを表示するには、**show log file** コマンドを使用します。

show log file

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例

次に、/harddisk/tracelogs ディレクトリのバイナリエンコードログを表示する例を示します。

```
# show log file flash:tracelogs/wncmgrd_R0-0.31953_1984.20171030025730.bin

executing cmd on chassis 1 ...
Decoding files:

2017/10/30 02:57:30.189 {wncmgrd_R0-0}{1}: [hl-core] [31953]: UUID: 1000000042b94, ra:
15, (debug): AP ece1.a9da.0ce0 is detected as unknown and is ignored for L1
2017/10/30 02:57:30.190 {wncmgrd_R0-0}{1}: [hl-core] [31953]: UUID: 1000000042b95, ra:
15, (debug): AP ece1.a9da.0ce0 is detected as unknown and is ignored for L1
2017/10/30 02:57:30.655 {wncmgrd_R0-0}{1}: [capwapac-srvr] [31953]: UUID: 1000000042b9d,
ra: 15, (info): MAC: ece1.a9da.0ce0 IP:90.90.90.244[51099], Discovery Request received
2017/10/30 02:57:30.655 {wncmgrd_R0-0}{1}: [capwapac-srvr] [31953]: UUID: 1000000042b9d,
ra: 15,
```

monitor logging

プロセスまたはプロファイルのログ生成をリアルタイムでモニターするには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **monitor logging** コマンドを使用します。

monitor logging

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例

次に、デバイスのログをモニターする例を示します。

```
Device# monitor logging
Displaying traces starting from 2023/03/13 13:54:44.000000. If no traces are present,
the command will wait until one is.
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/13 13:55:02.400420159 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6459]: (note): Inserted
UTF(2) HT(old):droputil_R0-0[13] lnode
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7048_399.20230313135502.bin PID:7048
2023/03/13 13:55:03.400515639 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6459:17299]: (note): Inline
sync, enqueue BTF message flags:0x1, PID:17299
BTF:/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7048_398.20230313135402.bin
2023/03/13 13:55:03.405782937 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6459]: (note): utm delete
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7048_398.20230313135402.bin
2023/03/13 13:55:04.830270054 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'enable' SUCCESS 2023/03/13 13:55:01.824 UTC
2023/03/13 13:55:14.147669445 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6459]: (note): Inserted
UTF(1) HT(new):in_telnetd_R0-0[15] lnode
/tmp/rp/trace/in_telnetd_R0-0.17897_0.20230313135514.bin:56 PID:17897
2023/03/13 13:55:14.385316198 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6459]: (note): Inserted
UTF(1) HT(new):brelay_R0-0[11] lnode
/tmp/rp/trace/brelay_R0-0.18013_0.20230313135514.bin:52 PID:18013
2023/03/13 13:55:14.602737720 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6459]: (note): Inserted
UTF(1) HT(old):utd_R0-0[8] lnode /tmp/rp/trace/utd_R0-0.18072_0.20230313135514.bin
PID:18072
2023/03/13 13:55:52.416339579 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6459]: (note): Inserted
UTF(2) HT(old):droputil_R0-0[13] lnode
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7048_400.20230313135552.bin PID:7048
2023/03/13 13:55:53.416432464 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6459:17299]: (note): Inline
sync, enqueue BTF message flags:0x1, PID:17299
BTF:/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7048_399.20230313135502.bin
2023/03/13 13:55:53.438909953 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6459]: (note): utm delete
```



```
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7048_399.20230313135502.bin  
<output truncated>
```

monitor logging filter

ログのモニタリングのフィルタを指定するには、**monitor logging** コマンドを使用します。

monitor logging filter { **interface** | **ipv4** | **ipv6** | **mac** | **ra** | **string** | **uuid** }

構文の説明		
	interface	特定のインターフェイスアプリケーションコンテキストを持つログを選択します。
	ipv4	特定の IPv4 アドレス アプリケーション コンテキストを持つログを選択します。
	ipv6	特定の IPv6 アドレス アプリケーション コンテキストを持つログを選択します。
	mac	特定の MAC アプリケーション コンテキストを含むログを選択します。
	string	特定の文字列アプリケーションコンテキストを含むログを選択します。
	uuid	特定の汎用一意識別子 (UUID) アプリケーション コンテキストを含むログを選択します。
	ra	放射線ログを選択します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例

次に、ログのモニタリングのフィルタを指定する例を示します。

```
Device# monitor logging filter mac ECE1.A9DA.0CE0
Device# monitor logging filter uuid 0x1f00000000014
```

monitor logging level

特定のレベルを超えるログをモニターするには、**monitor logging level** コマンドを使用します。

monitor logging level { **debug** | **error** | **info** | **notice** | **verbose** | **warning** }

構文の説明	オプション	説明
	debug	デバッグレベルのトレースメッセージを選択します。
	error	エラーレベルのトレースメッセージを選択します。
	info	情報レベルのトレースメッセージを選択します。
	notice	通知レベルのトレースメッセージを選択します。
	verbose	詳細レベルのトレースメッセージを選択します。
	warning	警告レベルのトレースメッセージを選択します。

コマンド デフォルト すべてのモジュールのデフォルトのトレースレベルは **notice** です。

コマンド モード ユーザ EXEC (>)
特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例 次に、特定のレベルを超えるログをモニターする例を示します。
Device# monitor logging level debug

monitor logging metadata

すべてのログメッセージのメタデータを表示するには、**monitor logging metadata** コマンドを使用します。

monitor logging metadata

構文の説明	このコマンドには引数またはキーワードはありません。	
コマンド デフォルト	なし	
コマンド モード	ユーザ EXEC (>)	特権 EXEC (#)
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

次に、ログメッセージのメタデータを表示する例を示します。

```
#monitor logging metadata
Displaying traces starting from 2023/03/13 16:14:38.000000.  If no traces are present,
the command will wait until one is.
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/13 16:14:45.726520594 {iosrp_R0-0}{255}: [iosrp] [3816]: (note): *Mar 13
16:14:45.726: %SEC_LOGIN-5-LOGIN_SUCCESS: Login Success [user: admin] [Source:
10.68.219.145] [localport: 23] at 16:14:45 UTC Mon Mar 13 2023
2023/03/13 16:14:50.707027420 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6384]: Message type: 0,
Flags: 0x4 [ TAC ], LUID: 1499fee71564e6679f585021b0d556fe98b60007, UUID: 0, ra: 0 (note):
  Inserted UTF(2) HT(old):droputil_R0-0[13] lnode
/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7083_514.20230313161450.bin PID:7083
2023/03/13 16:14:51.706580987 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6384:17368]: Message type:
0, Flags: 0x4 [ TAC ], LUID: f93d6ec90236d75c9dd60da9a0021ac8645c0004, UUID: 0, ra: 0
(note): Inline sync, enqueue BTF message flags:0x1, PID:17368
BTF:/tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7083_513.20230313161400.bin
2023/03/13 16:14:51.715837324 {btman_R0-0}{255}: [utm_wq] [6384]: Message type: 0, Flags:
0x4 [ TAC ], LUID: e284a7bb15a631e5236149d09c16335330c10006, UUID: 0, ra: 0 (note): utm
delete /tmp/rp/trace/droputil_R0-0.7083_513.20230313161400.bin
2023/03/13 16:15:07.678586985 {btman_R0-0}{255}: [utm_main] [6384]: Message type: 0,
Flags: 0x4 [ TAC ], LUID: 1499fee71564e6679f585021b0d556fe98b60007, UUID: 0, ra: 0 (note):
  Inserted UTF(2) HT(old):in_telnetd_R0-0[15] lnode
/tmp/rp/trace/in_telnetd_R0-0.9365_0.20230313161507.bin PID:9365
<output truncated>
```

monitor logging process-helper

プロセスまたはプロファイルのログ生成をリアルタイムでモニターするには、特権 EXEC モードまたはユーザー EXEC モードで **monitor logging** コマンドを使用します。

monitor logging process-helper process-name

構文の説明	<i>process-name</i>	ログをモニターする必要がある特定のプロセスを選択できます。例： bt-logger 、 btrace-manager 、 ios 、 dbm 、 logger など。
コマンドデフォルト	なし	
コマンドモード	ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例

次に、特定のプロセスのログをモニターする例を示します。

```
Device# monitor logging process-helper ios
Displaying traces starting from 2023/03/13 16:38:08.000000. If no traces are present,
the command will wait until one is.
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams

2023/03/13 16:38:13.126431871 {iosrp_R0-0}{255}: [parser_cmd] [3793]: (note): id=
10.68.219.145@vty0:user= cmd: 'enable' SUCCESS 2023/03/13 16:38:09.727 UTC
```

monitor logging

プロファイルのログをモニターするには、**monitor logging** コマンドを使用します。

monitor logging profile *profile-name*

構文の説明

profile

- **all** : すべてのプロセスのログを表示します。
- **file** : 特定のプロファイルファイル (bootflash:、crashinfo:、flash:、harddisk:、または webui:) のログを表示します。
- **hardware-diagnostics** : ハードウェア診断固有のプロセスのログを表示します。
- **install** : インストール固有のプロセスのログを表示します。
- **netconf-yang** : netconf-yang 固有のプロセスのログを表示します。
- **restconf** : restconf 固有のプロセスのログを表示します。
- **sdwan** : SDWAN 固有のプロセスのログを表示します。
- **wireless** : ワイヤレス固有のプロセスのログを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Fuji 16.9.x	このコマンドが導入されました。

例

次に、**wireless** プロセスのログをモニターする例を示します。

```
Device# monitor logging profile wireless
Displaying traces starting from 2023/03/13 17:14:42.000000.  If no traces are present,
the command will wait until one is.
Unified Decoder Library Init .. DONE
Found 1 UTF Streams
```

```
2023/03/13 17:14:50.019699421 {iosrp_R0-0}{255}: [iosrp] [3816]: (note): *Mar 13
17:14:50.019: %SEC_LOGIN-5-LOGIN_SUCCESS: Login Success [user: admin] [Source:
10.68.219.145] [localport: 23] at 17:14:50 UTC Mon Mar 13 2023
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。